

平成27年度

新入生の生活に関する調査報告書

平成28年1月

お茶の水女子大学

はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センターが平成 23 年度から実施している「新入学生（学部）とその保護者を対象に実施した調査」の平成 27 年度版です。

調査の目的は、学生本人および保護者の大学へのニーズを明らかにすることによって、本学の学生・キャリア支援活動をより効果的に行うための基礎資料とすることであり、新入学生およびその保護者を調査対象として実施してきました。調査内容は、出身高校、家族、卒業後の進路志望、学生生活の経済的基礎、学生支援活動への期待（新入生調査）、家計支持者の職業、世帯年収、学歴、学生支援活動への期待（保護者調査）などであります。

この調査は、学生の保護者を対象とした学内で唯一の公的調査（お茶の水女子大学 2014）として位置づけられており、大学としてより充実した学生生活を支援する上での貴重な資料として活用させていただいております。

末筆となりますが、本調査にご協力してくださった本年度新入学生とその保護者に心から感謝申し上げます。

平成 28 年 1 月吉日

国立大学法人 お茶の水女子大学
副学長
学生・キャリア支援センター長
高崎 みどり

平成 27 年度新入生調査報告書のポイント

（１）これまでの進路選択

- ・ 本学が第一志望である新入生は 87.8% と高い。昨年度より 1.4 ポイント増加。
 - ・ 中学受験を経験した新入生の割合は全国平均より多い。(43.2%*)
- ご参考. 大学生の中学受験経験率 27.8% (Benesse 教育研究開発センター 2013)

（２）生活・経済的側面

- ・ 自宅外通学をする人は約 4 割、アルバイトをする予定がある人は約 6 割である。

（３）大学生活での不安および期待する学生支援

- ・ 大学生活に向けて不安に思うこと
第 1 位「授業や単位」65.5% 第 2 位「就職や将来」52.1% 第 3 位「人間関係」51.1%
 - ・ 新入生が本学に期待する学生支援
第 1 位「就職支援」77.0% 第 2 位「進路相談」67.2%
- ご参考. 保護者調査では「就職支援」を期待する人が 86.0% と最も多い

（４）卒業後のキャリア

将来のキャリアについて「結婚・出産を経ても就業継続を希望する」と回答 68.9%

目次

調査の概要	2
第1章 「新入生調査」の結果	4
(1) 出身高校	4
(2) 家族構成	5
(3) これまでの進路選択や学生生活	7
(4) 大学入学後の生活の予定	9
(5) 将来の進路	16
第2章 「保護者調査」の結果	21
(1) 家庭の暮らし向き	21
(2) 親の職業・学歴	24
(3) 大学入学後の経済・生活支援	26
(4) 大学生生活の不安・心配事	29
第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告 ―奨学金・学生寮に関する集計結果―	32
(1) 問題・目的	32
(2) 方法	32
(3) 奨学金に関する結果	32
(4) 学生寮に関する結果	38
(5) 奨学金と学生寮について、過年度との比較	42
第4章 考察と今後の課題	46
(1) 平成27年度新入生の特徴と考察	46
(2) 奨学金と学生寮に関する考察	47
(3) 学生・キャリア支援における課題	48
付表	49
1. 調査票（新入生調査）	49
2. 調査票（保護者調査）	57
3. 基礎集計表（新入生調査）	63
4. 基礎本集計表（保護者調査）	69

執筆担当者

高崎 みどり（副学長、学生・キャリア支援センター センター長）

担当：はじめに

中川 まり（学生・キャリア支援センター 准教授）

担当：調査の概要、1章、2章、4章（1）（3）、付表4（保護者調査）

北澤 泰子（学生・キャリア支援センター アソシエイトフェロー）

担当：3章、4章（2）、付表3（新入生調査）

調査の概要

- **目的：**

入学を予定している学生の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とし、次の4点から構成される。

1. 新入生の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を、入学時から行うための情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定し、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭・進路などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- **調査時期：**2015 年 3 月

- **調査方法：**

質問紙調査票の郵送による送付・返送である。一般入試合格者および保護者に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査票返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の選考による合格者および保護者には、別途、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

- **分析対象：**

回答をいただいたが、調査データの使用許可を得ることができなかった回答者を分析対象者から除いた。よって対象者は、平成 27 年度学部入学者 419 名、保護者 421 名である。調査別の詳細は以下の通りである。

1. 「新入生を対象とした調査（新入生調査）」

平成 27 年度学部入学者 497 名。有効回答数 419 名（入学者のうち 84.3%）。

学部別内訳 文教育学部 224 名(入学者のうち 81.3%)

理学部 140 名(同 85.0%)、

生活科学部 133 名(同 88.7%)。

2. 「新入生の保護者を対象とした調査（新入生保護者調査）」

平成 27 年度学部入学生の保護者 497 名。有効回答数 421 名（入学者のうち 84.7%）。

- **実施主体：**

国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- **個人情報について：**

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めている。

（詳細は、http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html 参照）

調査票は、大学で付けた ID 番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

参考文献

Benesse 教育研究開発センター（2013）

「第 2 回 大学生の学習・生活実態調査報告書」

<http://berd.benesse.jp/koutou/research/>

日本学生支援機構（2014）

「平成 24 年度 学生生活調査」

http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/12.html

お茶の水女子大学（2013）

「平成 25 年度 新入生の生活に関する調査報告書」

———（2014）

「平成 26 年度 新入生の生活に関する調査報告書」

総務省統計局（2011）

『平成 22 年国勢調査』

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター（2008）

「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」

http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf

全国大学生生活協同組合連合会（2015）

「第 50 回 学生生活実態調査の概要報告」

<http://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

第1章 「新入生調査」の結果

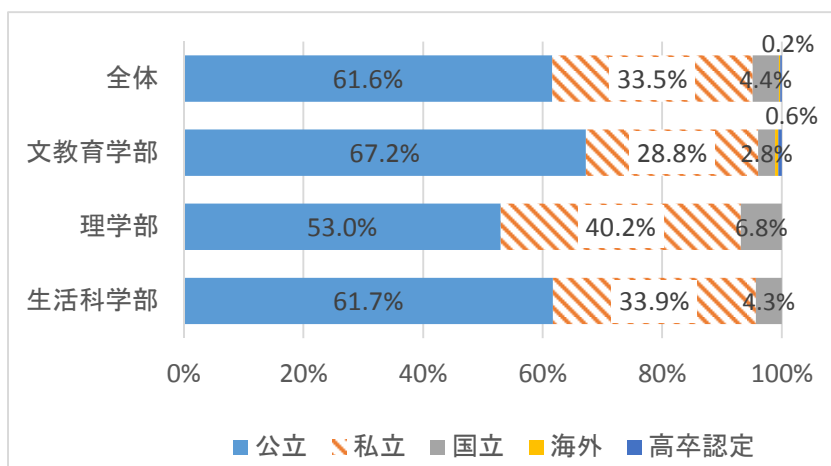
(1) 出身高校

はじめに出身高校について①設置者、②種類、③学科を示す。図表では新入生全体と学部別の内訳を示した。

① 設置者

図表1-1に出身高校の設置者についての結果を示す。出身高校の設置者について「国立」「公立」「私立」「海外」「高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）」から選択してもらい回答を得た。

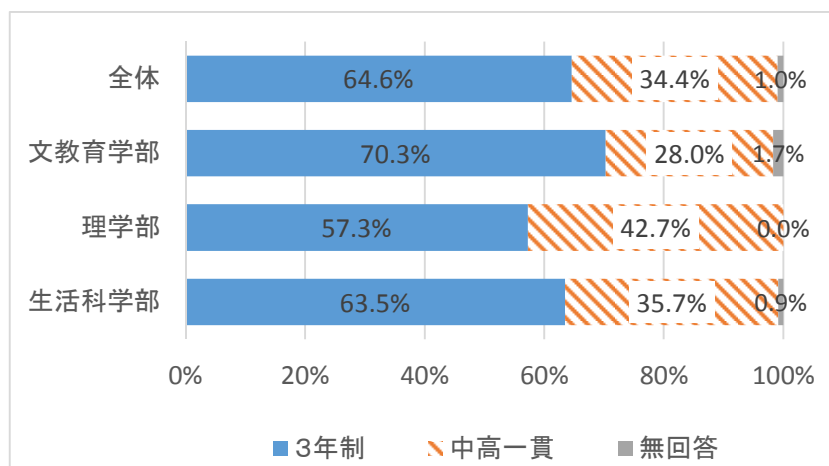
全体では、「公立」61.6%、「私立」33.5%、「国立」4.4%、「高卒認定」0.2%であった。学部別では、文教育学部は「公立」の割合が高く、67.2%である。この傾向は、平成26年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2014, p5）。今年度は、理学部において他の学部よりも「国立」の割合が6.8%と高い。



図表 1-1 出身高校の設置者

② 種類

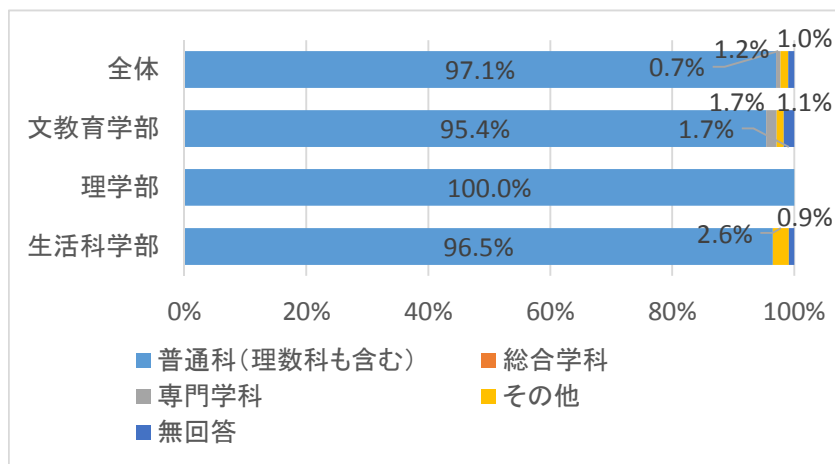
図表1-2に出身高校の種類について、「3年制」「中高一貫」の別に示す。全体では、「3年制」が64.6%、「中高一貫」34.4%と昨年とほぼ同様であった。学部別では、文教育学部が平成25年度より引き続き「3年制」の割合が高く、今年度も70.3%と高い傾向が続いている。



図表 1-2 出身高校の種類

③ 学科

図表 1－3 に出身高校の学科を「普通科（理数科も含む）」「総合学科」「専門学科（商業・工業、家庭、農業科など）」「その他」別に示す。全体の 97.1%が「普通科」であり、学部別でも大きな差異はない。平成 26 年度と同様に（お茶の水女子大学 2014 ,p6）、今年度の新入生にも「総合学科」の出身者は見られなかった。



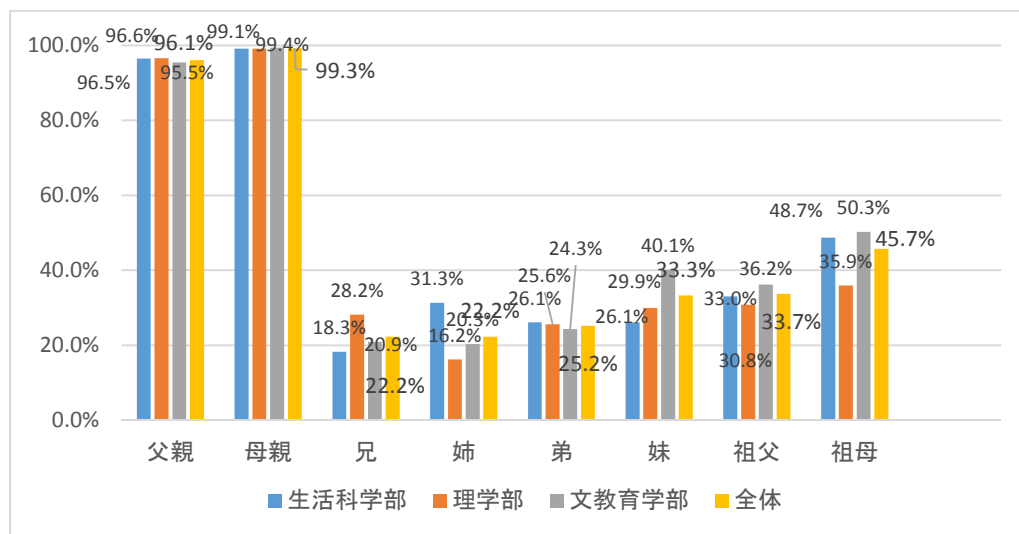
図表 1-3 出身高校の学科

(2) 家族構成

次に、新入生の家族構成について、①家族構成、②高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数、④私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数について示す。

① 家族の構成

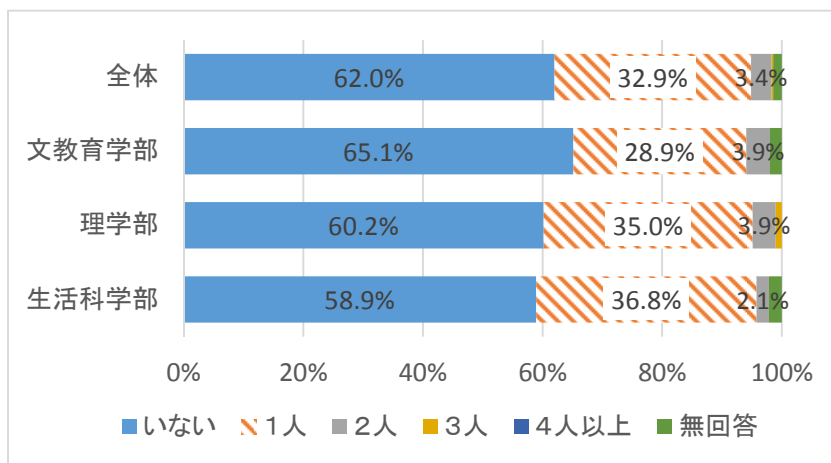
図表 2－1 に新入生の家族構成に関する結果を示す。同居を問わず家族構成について、複数選択可として回答を得た。今年度の新入生の家族構成は、全体でも学部別でも、平成 26 年度新入生と大きな差異は見られなかった（お茶の水女子大学 2014,p7）。また「一人っ子」は全体の 16.5%であった。平成 26 年度 17.2%（お茶の水女子大学 2014,p7）と平成 25 年度 15.2%（お茶の水女子大学 2013,p6）と並んで、高い傾向は変わらない。



図表 2-1 家族構成

② 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-2 は、大学（大学院）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）を尋ねた結果である。全体の 62.0%が「いない」、「1 人」は 32.9%、「2 人」が 3.4%である。文教育学部に「いない」人がやや多いが、学部による大きな差異は見られない。平成 26 年度新入生でも、ほぼ同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2014,p9）。

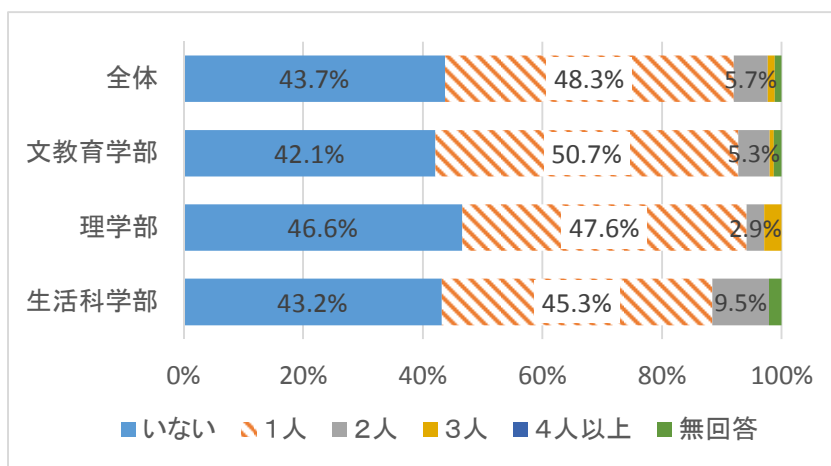


図表 2-2 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

③ 私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-3 は、私立の大学（大学院）・短期大学・高校・中学・小学校に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）について尋ねた結果である。

全体の 43.7%が「いない」、48.3%が「1 人」、5.7%が「2 人」であり、学部により大きな差異は見られなかった。また平成 26 年度および平成 25 年度新入生とほぼ同様の傾向がみられた（お茶の水女子大学 2013,p8）。



図表 2-3 私立学校（予定含む）在籍のきょうだい数

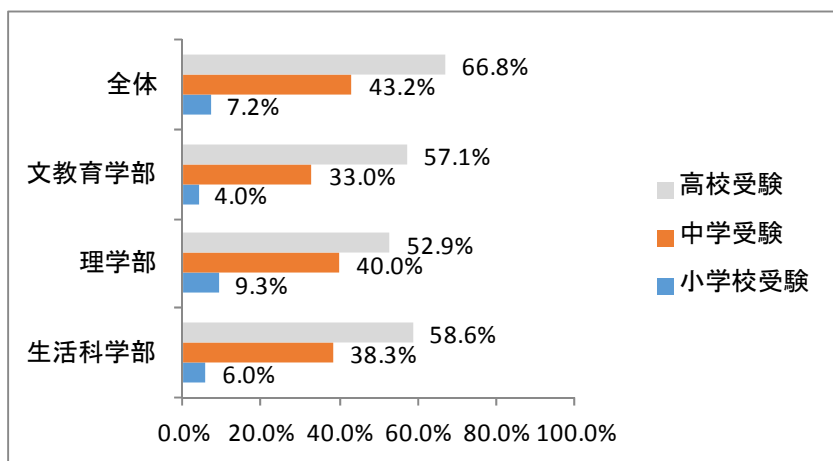
(3) これまでの進路選択や学生生活

本節では、新入生のこれまでの進路選択や学生生活について、①これまでの受験経験、②本学の受験を決めた時期、③本学の志望の度合い、④高校卒業から現在までの間に経験したことについて示す。

① これまでの受験経験

図表 3-1 は、小学校・中学校・高校のそれぞれに入学するための受験の経験について、複数回答可として尋ねた結果である。全体の 7.2%が小学校受験を、43.2%が中学受験を経験している。この傾向は、平成 26 年度新入生でも同様に見られる（お茶の水女子大学 2014,p11）。

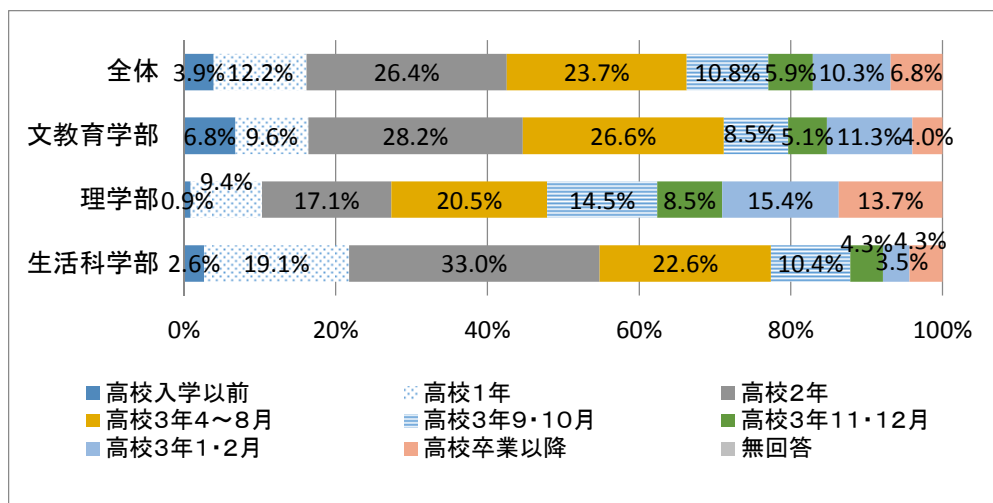
「第 2 回 大学生の学習・生活実態調査」(Benesse 教育研究開発センター 2013,p150)における、大学生の中学受験経験率は 27.8%であり、それと比較して本学の新入生の中学受験経験率は高い方に偏っている。



図表 3-1 これまでの受験の経験

② 本学の受験を決めた時期

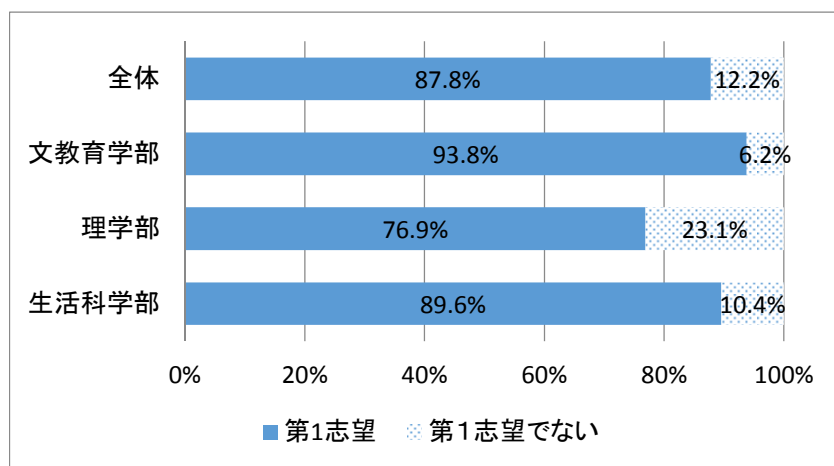
本学の受験を決めた時期について、その時期を尋ねた結果が図表 3-2 である。全体では、「高校 2 年」が 26.4%と最も高く、「高校 3 年 4～8 月」23.7%がそれに続いている。平成 27 年度は例年と同様の傾向となっている。



図表 3-2 本学の受験を決めた時期

③ 本学の志望の度合い

図表 3-3 に、受験時に本学が第一志望であったか否かについて尋ねた結果を示す。全体でみると 87.8% の新入生が本学を第一志望としており、昨年度 86.4% より 1.4 ポイント程度増加した（お茶の水女子大学 2014,p13）。学部別にみると、理学部での第一志望の割合が他の学部比べて 10 ポイント以上低い結果となっている。



図表 3-3 本学の第一志望の度合

④ 高校卒業から現在までの間に経験したこと

高校卒業から現在までに経験したことについて、「大学生の学習・生活実態調査」を参考に、複数回答可として尋ねた結果が図表 3-4 である。

「浪人」は全体で 14.1% であり、「この中にはない」が全体の 74.2% である。この傾向は、平成 26 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p11）。

学部別では、浪人の割合が異なり、文教育学部が 7.6%、生活科学部が 10.5% であるが、理学部は 20.0% と多いことが今年度の特徴である。

図表 3-4 高校卒業から現在までの間に経験したこと

—	他の高等教育機関入学	フルタイムで働いた	浪人	海外留学	この中にはない	無回答
全体	0.7%	0.2%	14.1%	0.0%	74.2%	9.3%
文教育学部	0.4%	0.0%	7.6%	0.0%	62.5%	8.9%
理学部	0.7%	0.0%	20.0%	0.0%	54.3%	9.3%
生活科学部	0.8%	0.8%	10.5%	0.0%	71.4%	4.5%

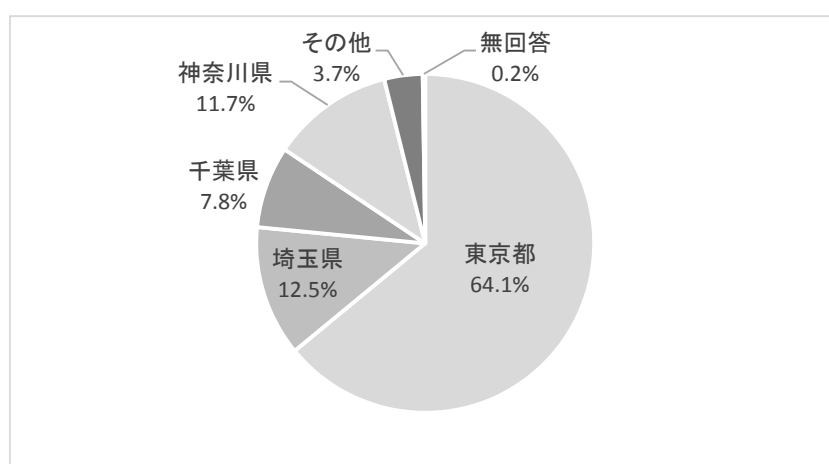
(4) 大学入学後の生活の予定

本節では、新入生の大学入学後の生活の予定について多面的に行った調査結果を示す。

調査項目は、①大学入学後に居住予定の都道府県、②大学入学後の住居の予定、③1か月の家賃の予算、④1か月あたり定額、⑤大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動、⑥アルバイト活動の予定、⑦授業料の負担予定、⑧奨学金・学費免除制度の認知、⑨本学の学生寮に対する認知、⑩大学生活での不安・心配事、⑪本学の学生支援活動への期待についてである。

① 大学入学後に居住予定の都道府県

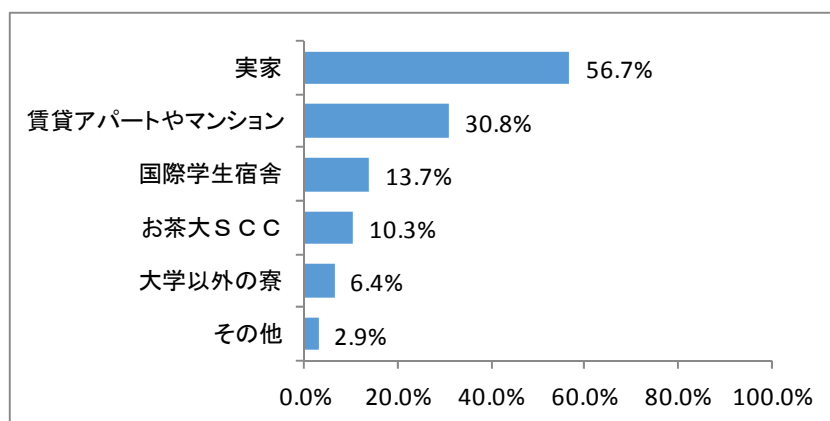
図表 4-1 に大学入学後に居住予定の都道府県について示す。全体では、東京都が 64.1%と最も高く、埼玉県、神奈川県、千葉県と続いている。



図表 4-1 大学入学後に居住予定の都道府県

② 大学入学後の住居の予定

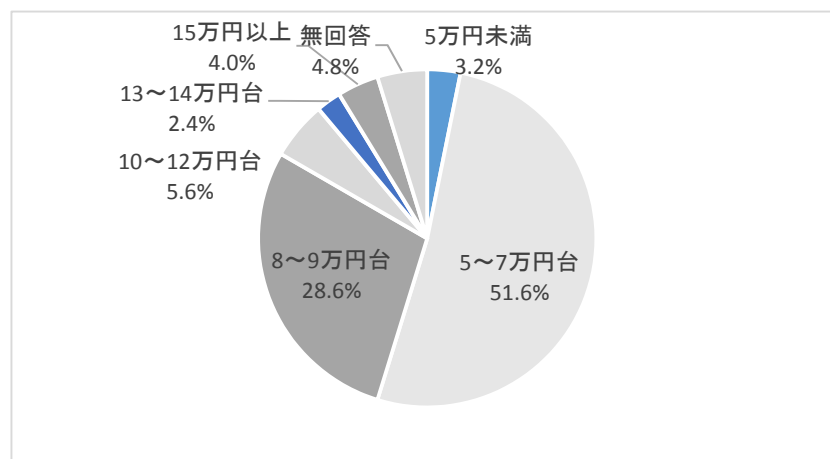
図表 4-2 は、大学入学後に予定している住居について、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「実家」が約 56.7%を占め、次いで、「賃貸アパートやマンション」30.8%、「国際学生宿舎」13.7%、「お茶大 SCC」10.3%といった学生寮が続いている。この結果は平成 26 年度新入生とほぼ同様の傾向である（お茶の水女子大学 2014,p16）。



図表 4-2 大学入学後に予定している住居

③ 1か月の家賃（管理費込み）の予算

図表 4-3 は、1 か月の家賃（管理費込み）の予算（千円未満は四捨五入）について、「賃貸アパートやマンション」に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7 万円」が 51.6%と最も多く、次いで「8～9 万円」28.6%である。両者を合わせると約 8 割の学生が 1 か月の家賃として 5～9 万円を予定していることがわかる。平成 26 年度新入生でも、ほぼ同様であった（お茶の水女子大学 2014,p17）。

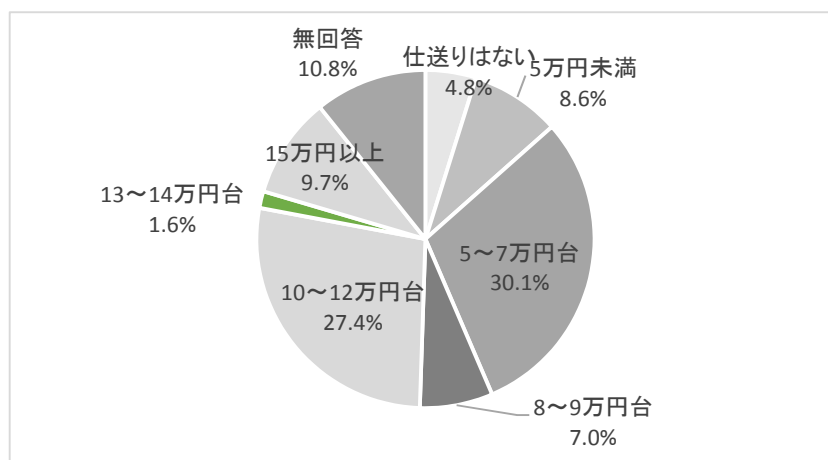


図表 4-3 1 か月の家賃（管理費込み）の予算

④ 1か月あたりの仕送り

図表 4-4 は、1 か月あたりの仕送り予定額（万円未満は四捨五入）について、「実家」以外に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7 万円」が 30.1%と最も多く、次いで「10～12 万円」27.4%という結果である。一方で「仕送りはない」4.8%を含め、仕送り予定が 10 万円未満の学生は 50.5%であり、平成 26 年度の調査とほぼ同様の結果である（お茶の水女子大学 2014,p18）。

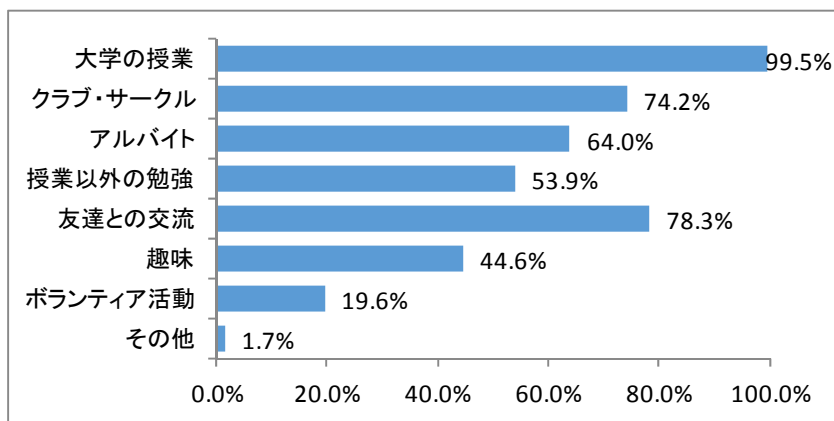
なお「第 50 回 学生生活実態調査の概要報告」（全国大学生生活協同組合連合会 2015）によれば、下宿生のうち、仕送り金額が 5～10 万円の学生は 36.2%と最も多く、仕送り 10 万円以上 29.3%を超えている。一方、仕送り 0 の割合は 8.8%、5 万円未満の人は 23.8%である。



図表 4-4 1 か月あたりの仕送り予定額

⑤ 大学に入学後、特にこの１年で頑張ろうと思う活動

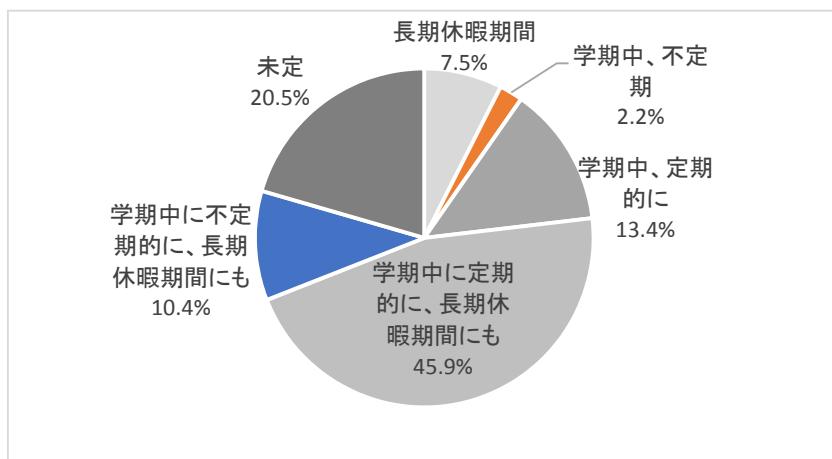
図表 4-5 に、入学後、特にこの１年で頑張ろうと思う活動について、複数回答可として尋ねた結果を示す。「大学の授業」が 99.5%と最も高い。続いて、「友達との交流」78.3%、「クラブ・サークル活動」が 74.2%と全体の 7 割を超えている。これらの傾向は、平成 26 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p15-16）。「アルバイト活動」は全体の 64.0%であるが、その理由についても今後は目を向けていく必要があるだろう。



図表 4-5 大学に入学後、特にこの１年で頑張ろうと思う活動

⑥ アルバイト活動の予定

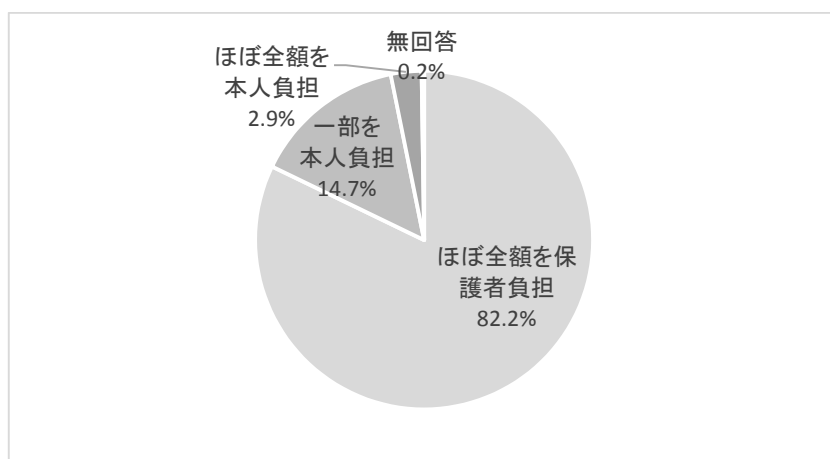
図表 4-6 は、入学後のアルバイト活動の予定について、その予定のある者に対して尋ねた結果である。最も多いのは「学期中に定期的に、長期休暇期間にも」45.9%である。「未定」が全体の 20.5%を占めるが、学期中に定期的なアルバイト活動を予定している学生は約 6 割にも及ぶ。



図表 4-6 アルバイト活動をする予定の時期や頻度

⑦ 授業料の負担予定

図表 4-7 は、授業料の負担予定について尋ねた結果である。「ほぼ全額を保護者が負担予定」が 82.2%である。その一方で、「ほぼ全額を本人が負担予定（奨学金等による負担含む）」は極めて少なく、2.9%であった。これらの傾向は、平成 26 年度新入生でもほぼ同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p21）。



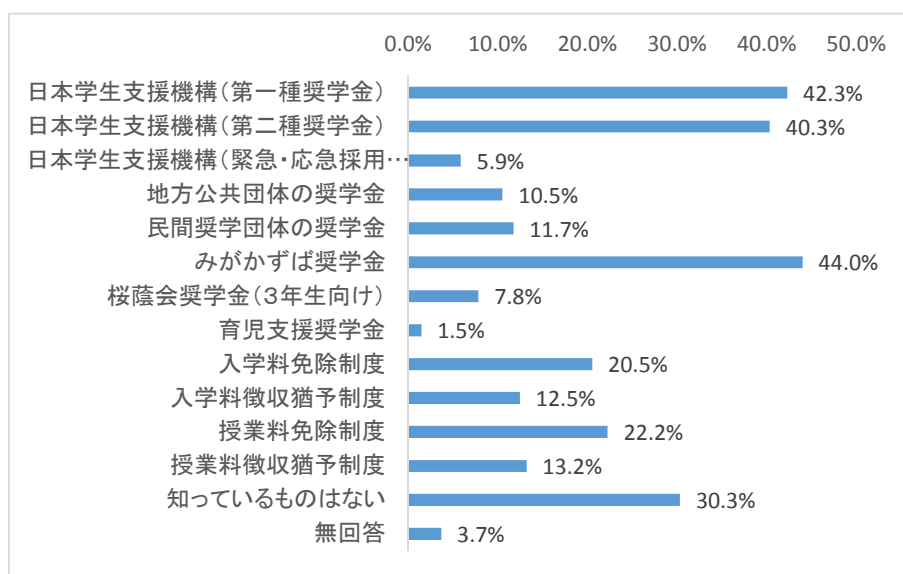
図表 4-7 授業料の負担予定

⑧ 奨学金・学費免除制度の認知

図表 4-8 は、奨学金・学費免除制度の認知について、本学独自の制度も含め複数回答可として尋ねた結果である。奨学金制度については、日本学生支援機構による奨学金は、第一種・第二種ともに高く、全体の約 4 割の認知率であった。「知っているものはない」は全体の 30.3%であり、平成 26 年度新入生の 26.4%、平成 25 年度新入生の 27.8%に比較して多い割合である。（お茶の水女子大学 2014,p21;2013,p18）。

本学独自の奨学金として、平成 23 年度よりスタートした予約型奨学金制度「みがかずば奨学金」は、44.0%と日本学生支援機構の奨学金より高い認知率であり、この傾向は昨年度と同様である。

入学料や授業料の学費免除制度は約 2 割の認知率、授業料徴収猶予制度は昨年度の 16%より低く 13.2%の認知率であった。

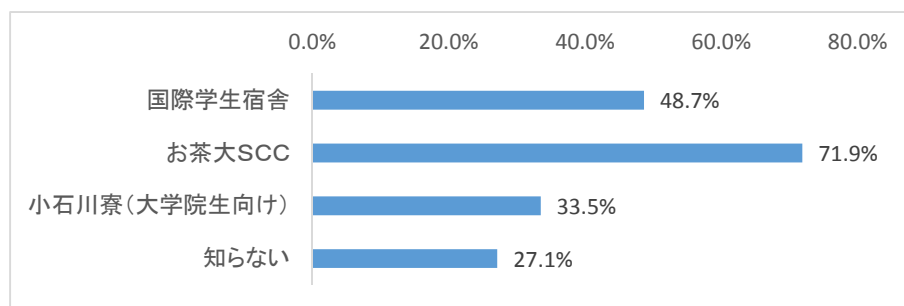


図表 4-8 奨学金・学費免除制度の認知

⑨ 本学の学生寮に対する認知

図表 4-9 は、本学学生寮に対する認知について、複数回答可として尋ねた結果である。本学には、国際学生宿舎（学部生対象）、お茶大 SCC（1・2 年生対象）、小石川寮（院生対象）がある。

「お茶大 SCC」が 71.9%、「国際学生宿舎」が 48.7%、「知らない」は 27.1%である。国際学生宿舎について、平成 26 年新入生の認知率 54.5%に比べると平成 27 年度新入生の認知率は 6%程度低い。しかし全体傾向は平成 26 年度新入生と同様である（お茶の水女子大学 2014,p24）。



図表 4-9 本学の学生寮に対する認知

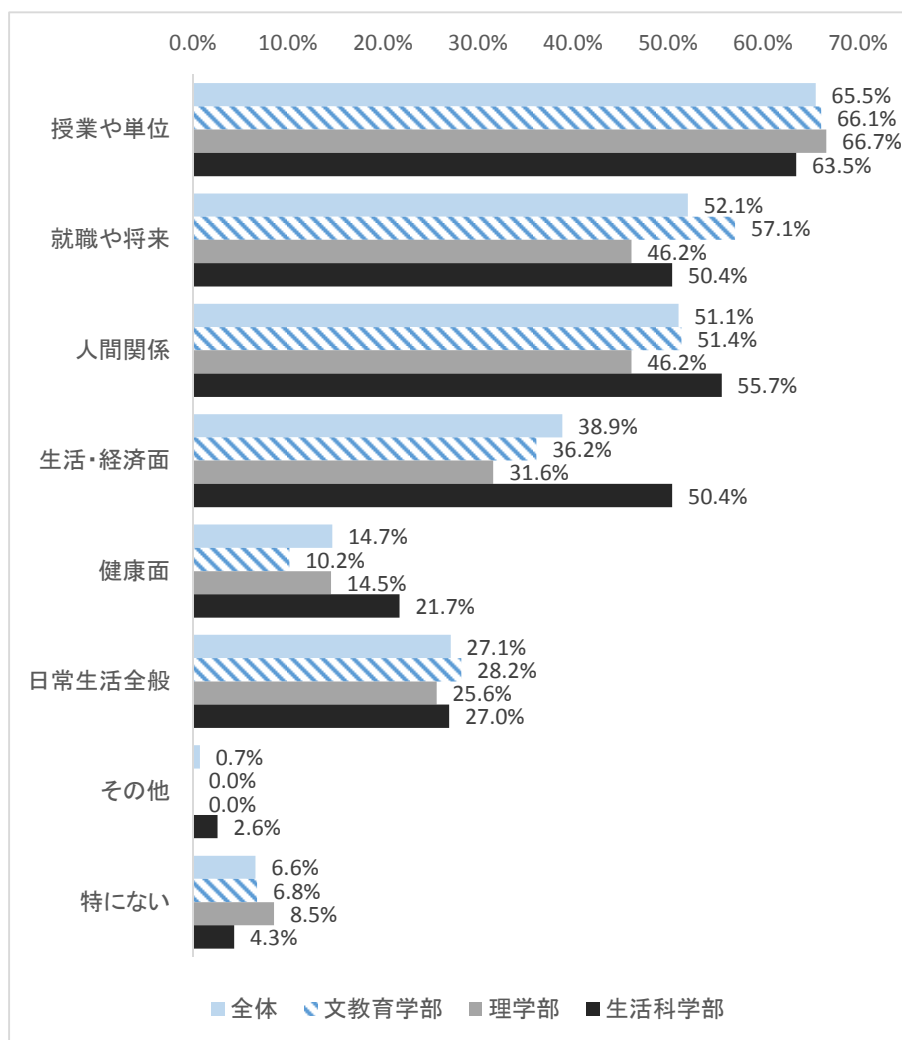
⑩ 大学生活での不安・心配事

図表 4-10 は、全国大学生生活協同組合連合会が実施している「保護者に聞く新入生調査」の調査項目を参考に、大学生活が始まって心配なことについて複数回答可として尋ねた結果である。

「特にない」は全体の 6.6%であり、学部別では理学部では 8.5%と高い。この傾向は、平成 26 年度新入生とほぼ同様である（お茶の水女子大学 2014,p24）。

最も多い項目は「授業や単位」が全体の 65.5%であり、「就職や将来」52.1%、「人間関係」51.1%がそれに続いている。平成 27 年度新入生は、平成 24 年度新入生及び平成 25 年度新入生（お茶の水女子大学 2013,p19-20）と同様の結果である。しかし平成 26 年度新入生とは異なり、平成 26 年度新入生は「授業や単位」に「人間関係」が続いているという結果であった（お茶の水女子大学 2014,p24）。

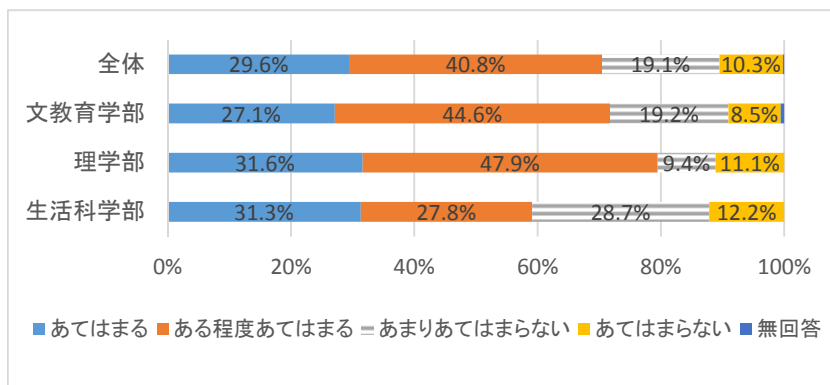
学部別では、文教育学部は「就職や将来」について 57.1%と他学部より高く、生活科学部は、「人間関係」55.1%、「生活・経済面」50.4%について他学部より高いという結果であった。



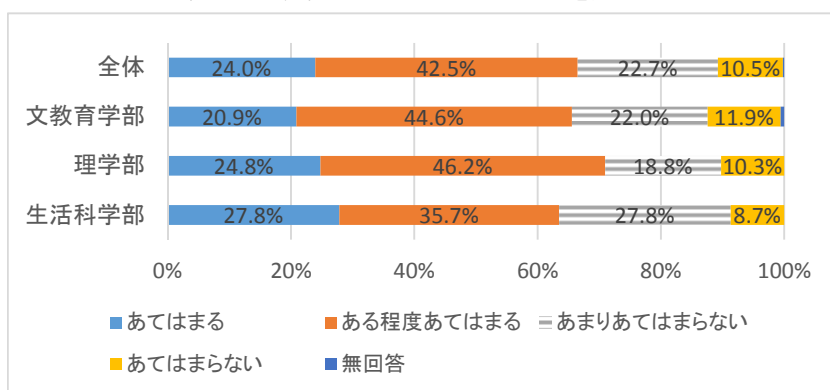
図表 4-10 大学生活が始まって心配なこと

加えて、大学入学後の不安・心配事に対する今の気持ち 8 項目について 4 件法で回答を得た。そのうち、「あてはまる」「ある程度あてはまる」として回答した割合が 65%を超えた 4 項目を図表 4-11 から図表 4-14 に示す。

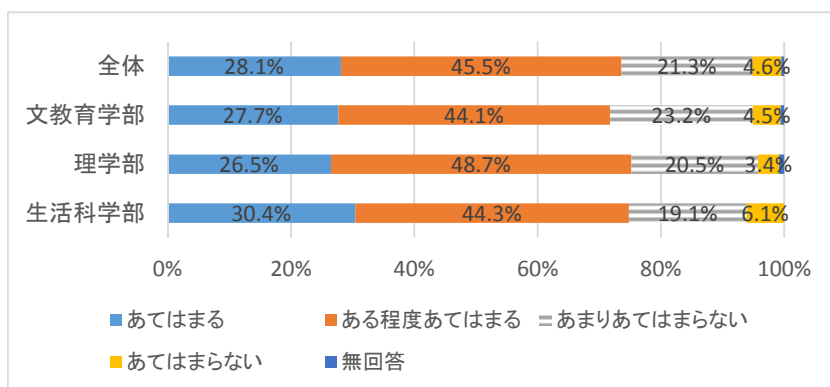
全体では、「授業についていけるか」を不安に思う割合が 74.7% と最も高く、「充実したキャンパスライフを送れるか」70.4%、「卒業後ちゃんと就職できるか」66.9%がそれに続く結果となっている。この傾向は平成 26 年度新入生とほぼ同様である。



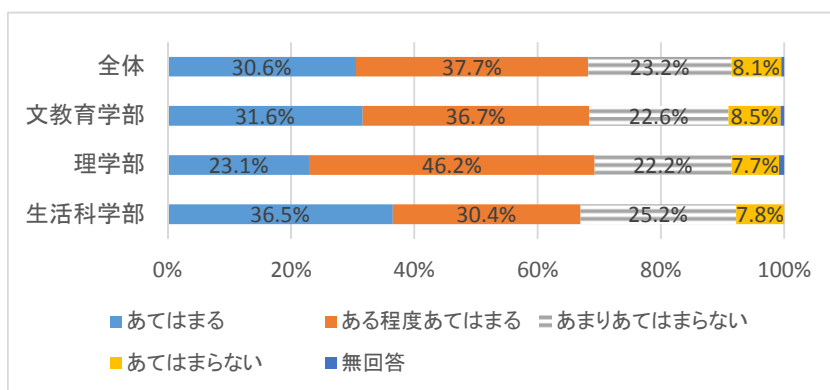
図表 4-11 充実したキャンパスライフを送れるか



図表 4-12 大学になじめるか



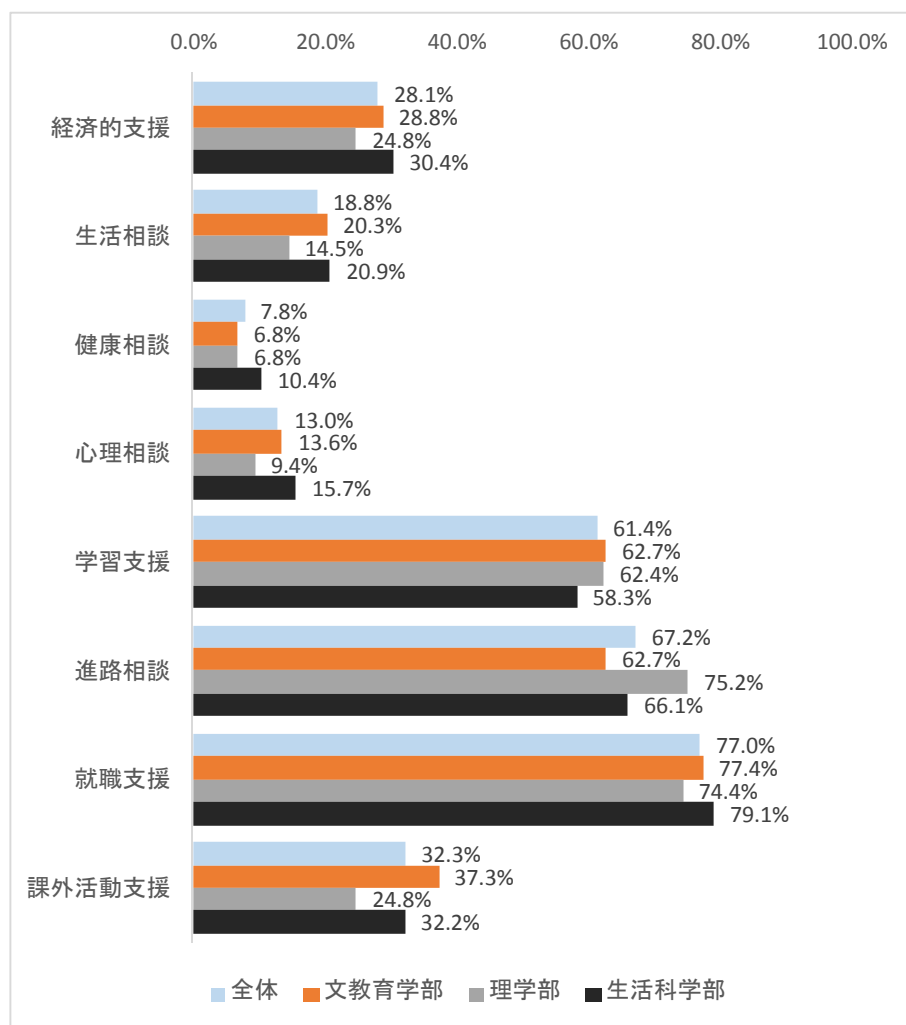
図表 4-13 授業についていけるか



図表 4-14 卒業後ちゃんと就職できるか

⑪ 本学の学生支援活動への期待

図表 4-15 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待することについて、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「就職支援」が 77.0%と最も高く、次いで「進路相談」67.2%となっている。



図表 4-15 本学の学生支援活動への期待

(5) 将来の進路

本節では、新入生の将来の進路について、①大学卒業後の進路希望、②大学卒業後のキャリアについての考え、③就職や将来に関する親の関与について示す。

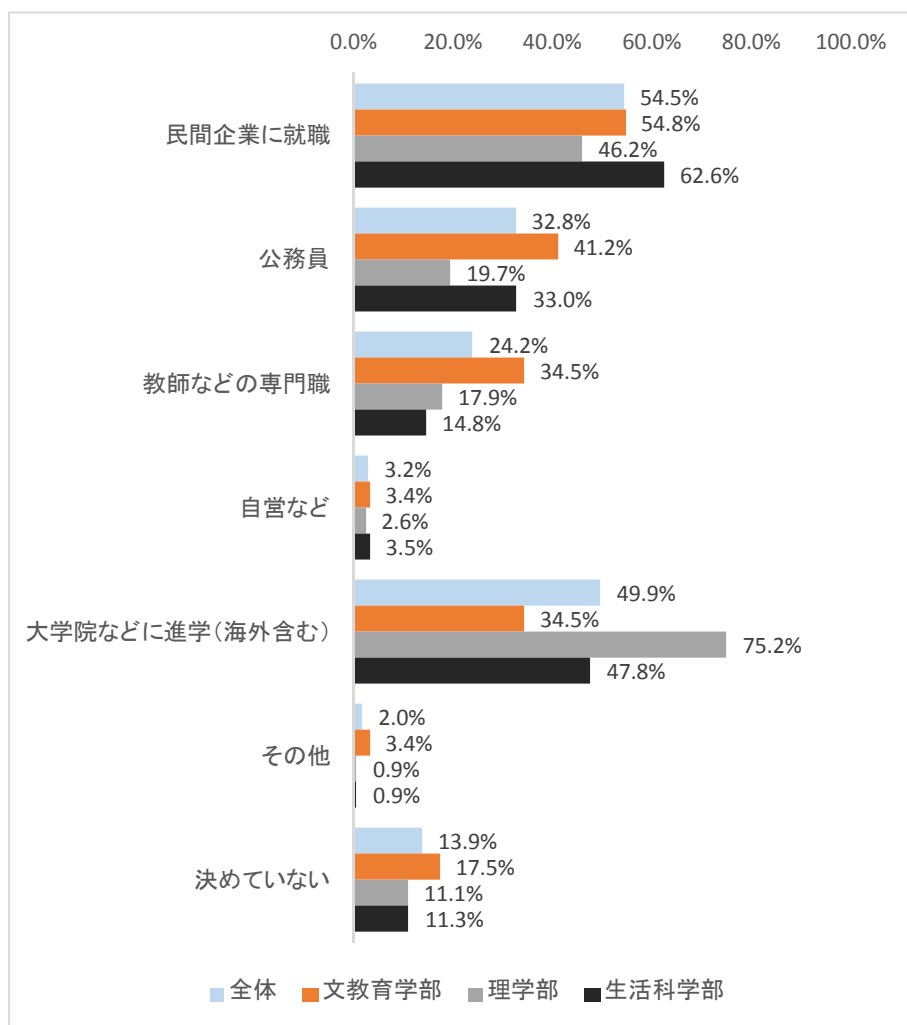
① 大学卒業後の進路希望

図表 5-1 は、大学卒業後の進路希望について、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」を参考に、複数回答可として尋ねたものである。

全体でみると、「民間企業に就職する」が最も高く 54.5%、「大学院などに進学する（海外含む）」がそれに続いて 49.9%であった。ただし「大学院などに進学する（海外含む）」は学部による差異も大きく、理学部では 75.2%であるが、文教育学部では 34.5%程度であった。これらの傾向は、

平成 26 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p18）。

「公務員になる」が全体の 32.0%でこれらの進路希望に続くが、学部により差異も大きく、文教育学部では 41.2%を占める一方で、理学部では 19.7%にとどまっている。



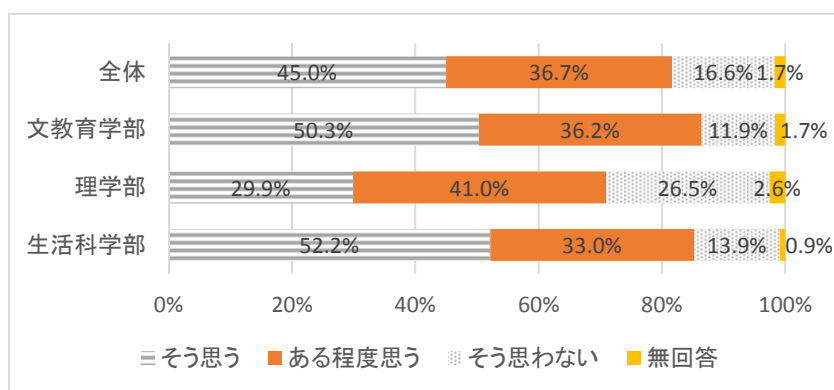
図表 5-1 大学卒業後の進路希望

② 大学卒業後のキャリアについての考え

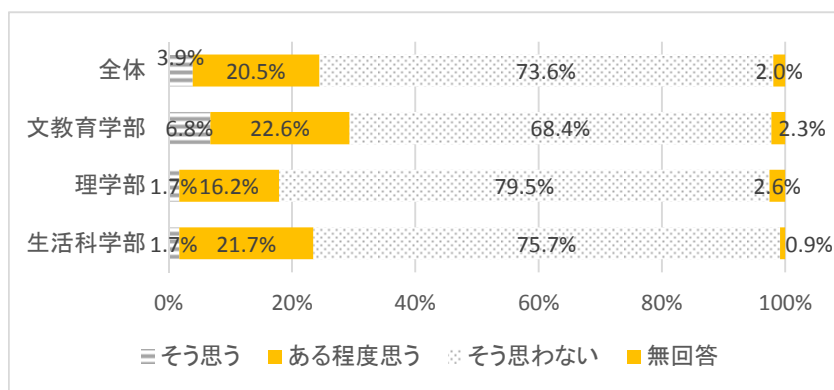
全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センターが2007年に実施した「全国大学生調査」を参考に、「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する9項目について3件法で尋ねた結果のうち、7項目の結果を図表5-2から図表5-8に示す。

まず図表5-2から図表5-4は、「卒業後の進路」について尋ねた結果である。「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」について、全体で「そう思う」「ある程度思う」と回答した人（該当率）は81.7%である一方で、「すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない」の該当率は24.4%である。この結果から平成27年度の新入生は、平成26年度、平成25年度新入生と同様、大学卒業後すぐに正規雇用を志向していることがうかがえる（お茶の水女子大学2014,p20）。

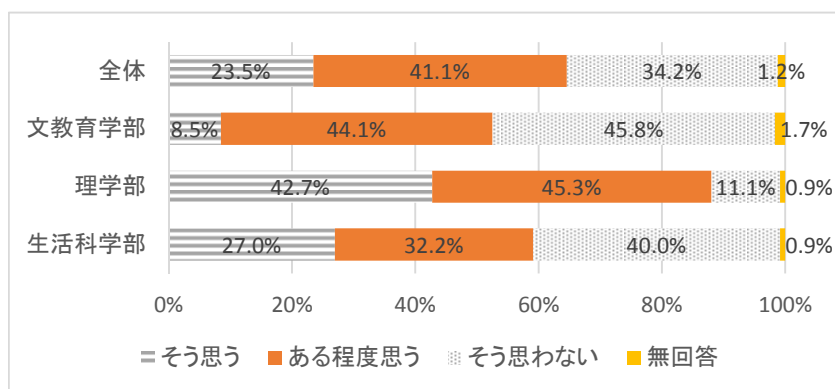
「すぐに大学院などに進学する」の全体での該当率は64.6%である。特に理学部が高く、理学部の該当率は88.0%であり、平成27年度新入生と同様の傾向である（お茶の水女子大学2014,p21）。



図表5-2 すぐに就職して正社員・正規の職員になる



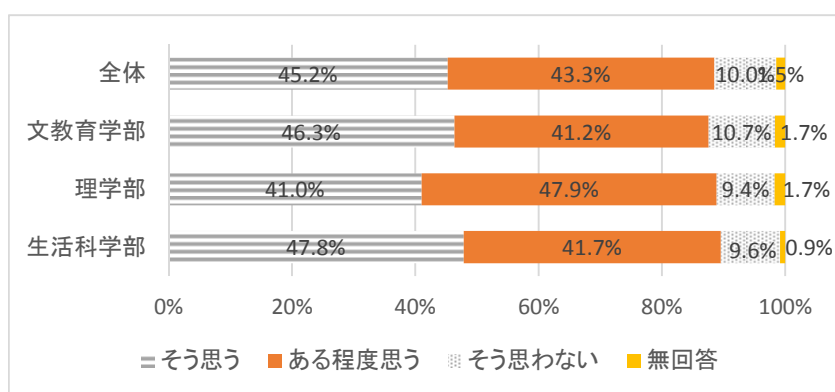
図表5-3 すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない



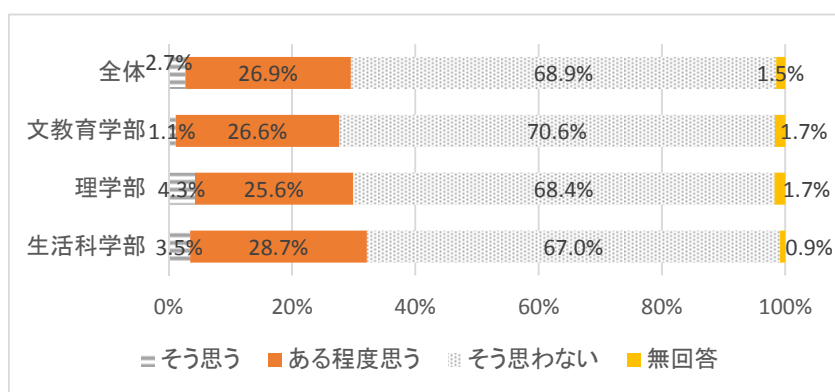
図表 5-4 すぐに大学院などに進学する

次に図表 5-5 と図表 5-6 は、「就職後の勤務・退職」について尋ねた結果である。

いずれの項目も学部による大きな差異はみられず、「最初の就職先にできるだけ長く勤める」に該当する人は全体のおよそ 9 割に及んでいる。「結婚・出産したら仕事をやめる」の該当率は 29.6% であり、「そう思わない」に回答した人は全体では 68.9% である。これらの傾向は、平成 26 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p23-24）。



図表 5-5 最初の就職先にできるだけ長く勤める



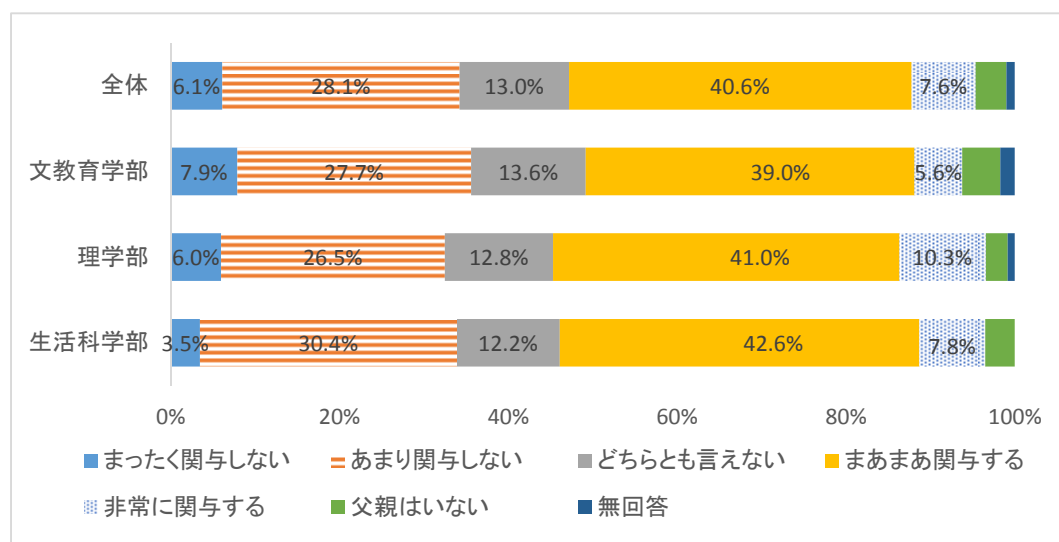
図表 5-6 結婚・出産したら仕事をやめる

③ 就職や将来に関する親の関与

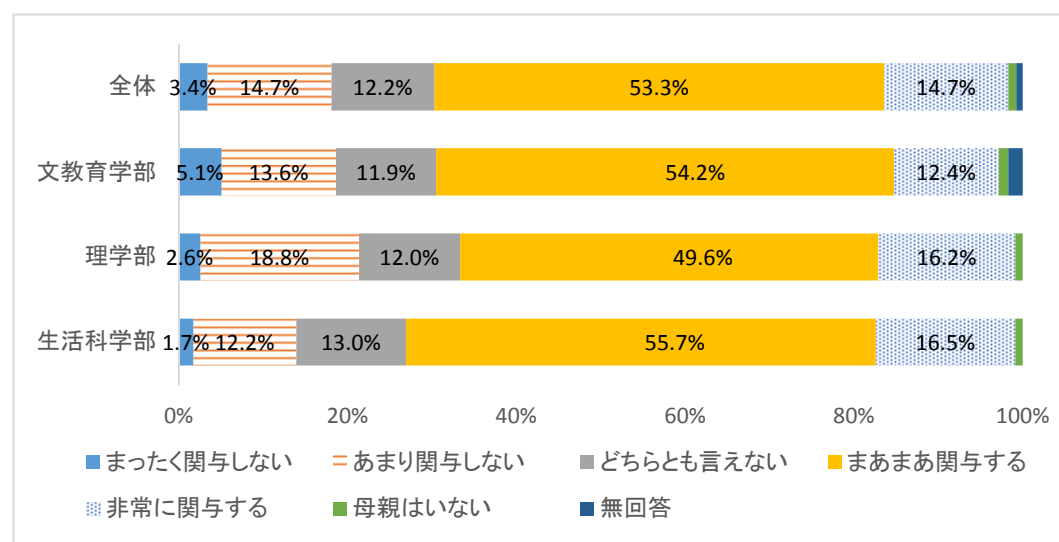
就職や将来に関する親の関与について 5 件法で尋ねた。図表 5-7 に父親の関与についての結果を、図表 5-8 に母親の関与についての結果を示す。

平成 27 年度新入生は、就職や将来のことにに関して、全体の 48.2%に父親の関与があり（「非常に関与する」＋「まあまあ関与する」に回答）、全体の 68.0%に母親の関与がある。これらの傾向は、平成 26 年度新入生でも同様に示されており（お茶の水女子大学 2014,p33）、大学卒業後の進路に対する支援を行う際には、保護者の存在も視野に入れ、保護者とともに支援にあたること有益な支援につながると思われる。

学部別では、平成 26 年度新入生では、生活科学部で父親の関与の程度が高いことが示されたが、（お茶の水女子大学 2014,p33）、今年度は学部間での目立った差は見られない。



図表 5-7 就職や将来のことに関する父親の関与



図表 5-8 就職や将来のことに関する母親の関与

第2章「保護者調査」の結果

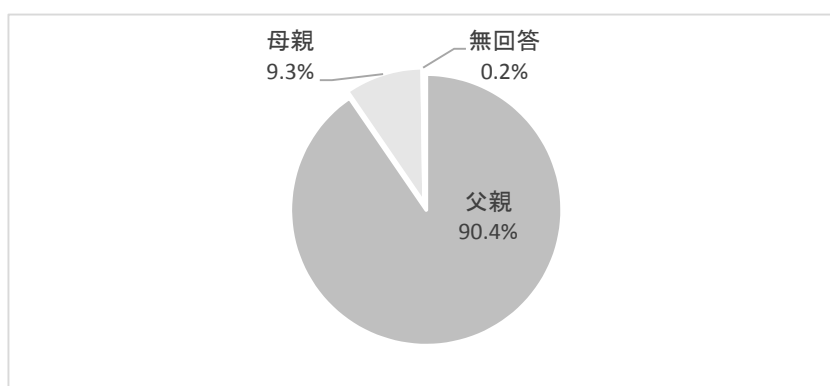
第2章では、新入生の保護者421名に対する調査結果について報告する。

(1) 家庭の暮らし向き

はじめに、新入生の家庭の暮らし向きについて、①主な家計支持者、②家計支持者の職業、③家計支持者の年収、④世帯年収、⑤大学入学後の家庭の暮らし向きについて示す。

① 主な家計支持者

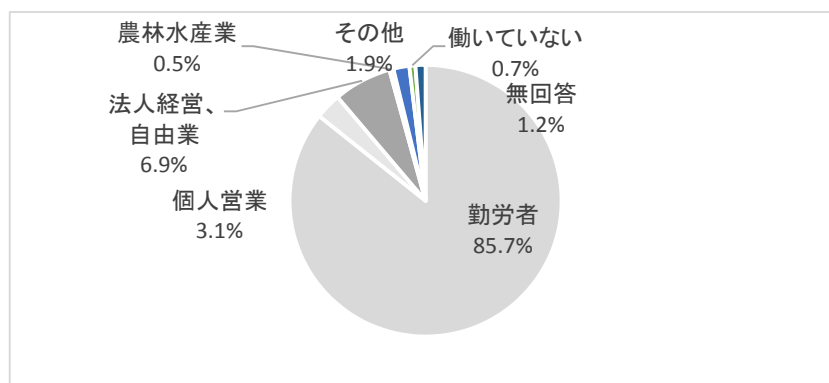
図表 1-1 は、新入生の主な家計支持者についての結果である。主な家計支持者は、全体の90.4%が「父親」、9.3%が「母親」である。平成26年度新入生の保護者も同様の傾向であった（お茶の水女子大学2014,p35）。



図表 1-1 家計支持者

② 家計支持者の職業

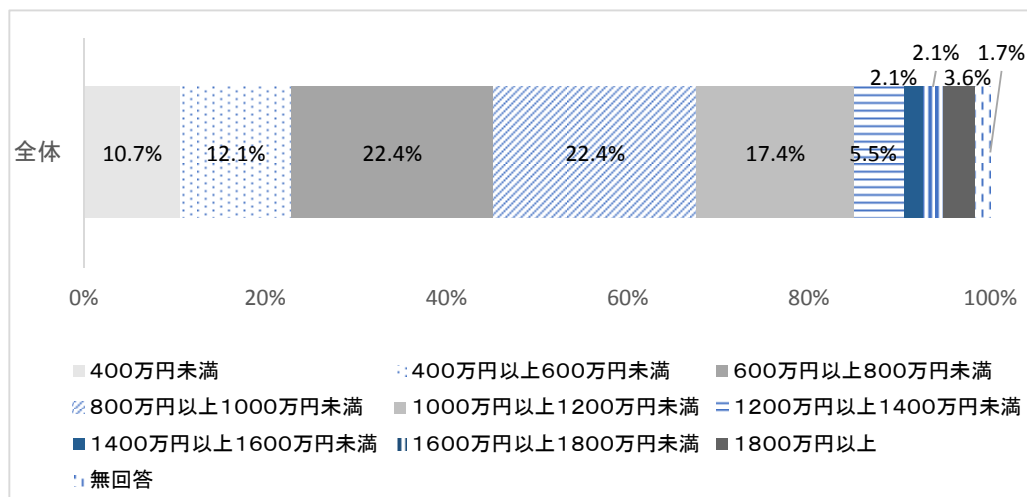
図表 1-2 に、家計支持者の職業について示す。家計支持者の職業は「勤労者」が全体の85.7%を占め、次いで「法人経営・自由業」6.9%である。平成26年度新入生の保護者も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学2014,p35）。



図表 1-2 家計支持者の職業

③ 家計支持者の年収

図表 1-3 に新入生の家計支持者の年収について示す。全体では、「600 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上 1000 万円未満」がともに 22.4%と最も多く、「1000 万円以上 1200 万円未満」17.4%がそれに続いている。平成 26 年度新入生の保護者も、ほぼ同様の傾向であった（お茶の水女子大学 2014,p36）。

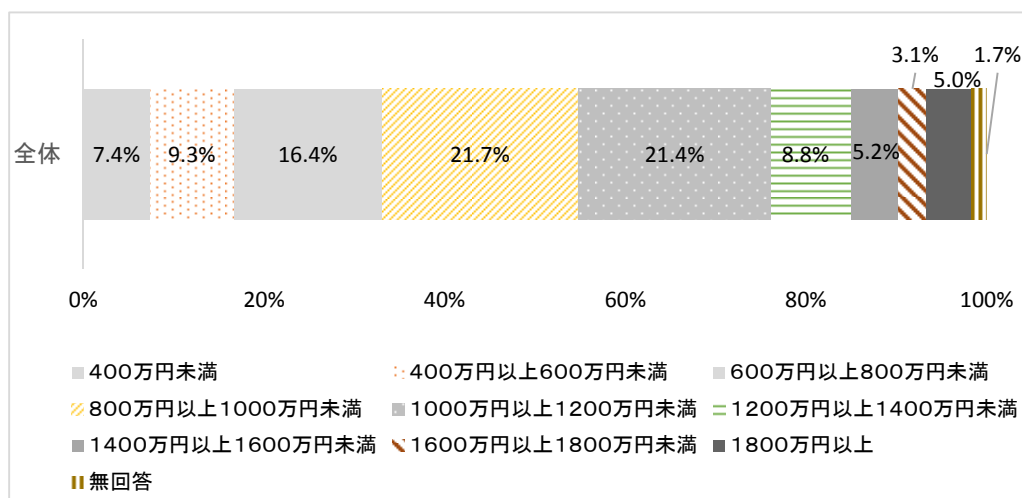


図表 1-3 家計支持者の年収

④ 世帯年収

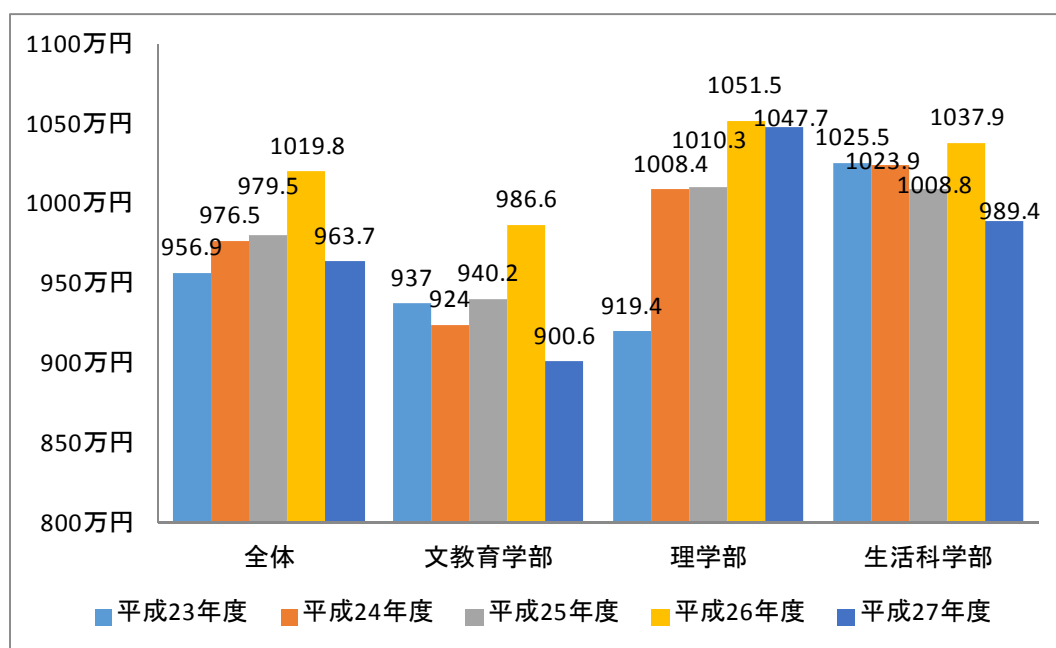
さらに、新入生の家庭の世帯年収について、家計支持者同様に尋ねた結果が図表 1-4 である。全体でみると、「800 万円以上 1000 万円未満」が 21.7%と最も高く、「1000 万円以上 1200 万円未満」21.4%、「600 万円以上 800 万円未満」16.4%がそれに続いている。

平成 26 年度の新入生の保護者では「1000 万円以上 1200 万円未満」が 21.4%と最も高く、「800 万円以上 1000 万円未満」18.3% であり今年度とは上位が入れ替わっている。「600 万円以上 800 万円未満」16.9%がそれに続いている（お茶の水女子大学 2014,p37）。



図表 1-4 世帯年収

『平成 24 年度学生生活調査』（日本学生支援機構 2014）によると、家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）について、1000 万円をこえる家庭は全体の 23.9%、国立大学・女子では 25.2% である。それに対し図表 1-5 に示すように、本学新入生の家庭のうち、世帯年収が 1000 万円を超えている家庭は少なくとも全体の 43.5% を占めており、家庭の世帯年収が全国水準に比べて、高い方に偏っている。平成 26 年度新入生でも同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2014,P37）。参考に、図表 1-5 に、各カテゴリーの中央値に基づき、平成 23 年度以降の新入生の家庭の世帯年収平均（推計）を算出したものを示す。平成 26 年度新入生の平均世帯収入が他の年度より高いものの、おおむね同程度の平均値で推移している。

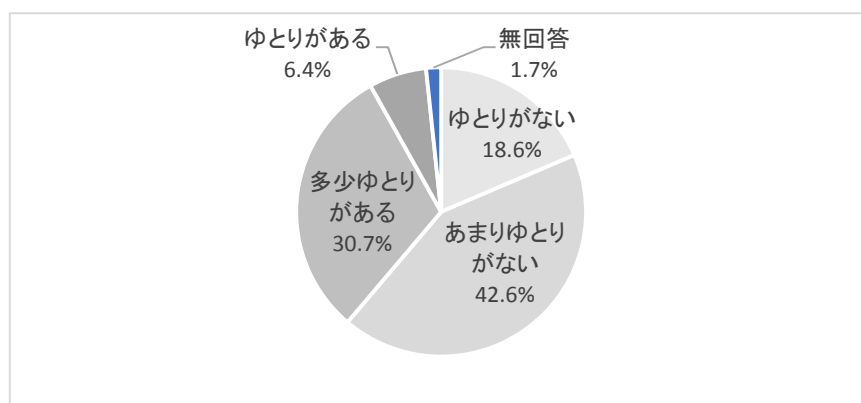


図表 1-5 世帯年収平均（推計）

⑤ 大学入学後の家庭の暮らし向き

図表 1-6 に、新入生が大学に入学した後の家庭の暮らし向きについて尋ねた結果を示す。

全体でみると、「あまりゆとりがない」が 42.6% と最も高く、「ゆとりがない」18.6% と合わせると全体のおよそ 6 割に及んでいる。これらの傾向は、平成 26 年度新入生の保護者でも同様である（お茶の水女子大学 2014,p34）。



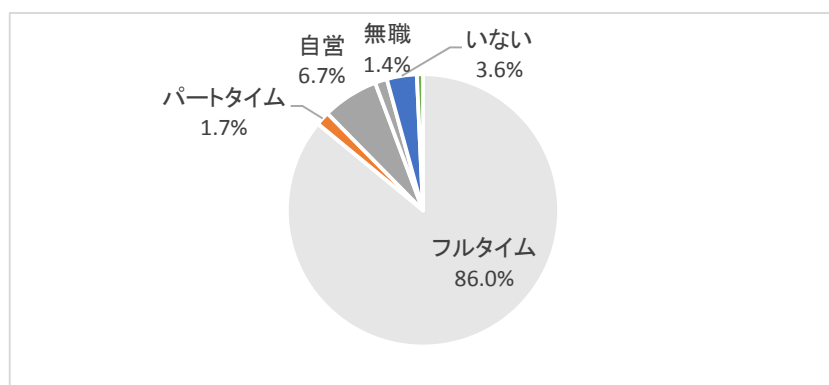
図表 1-6 入学した後の家庭の暮らし向き

(2) 親の職業・学歴

本節では新入生の親の職業や学歴について、①親の勤務形態、②親の学歴について示す。

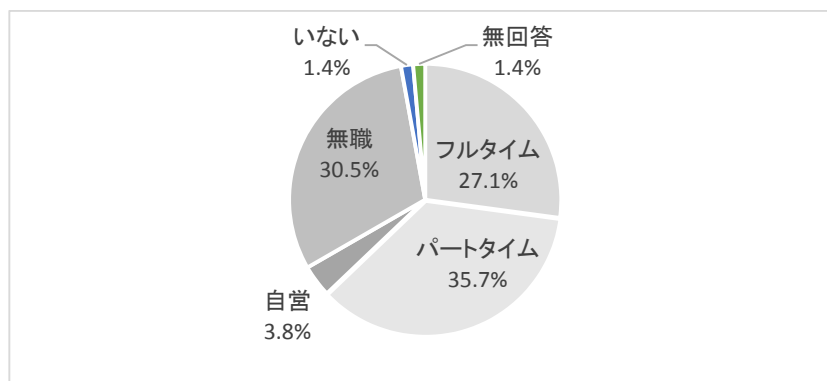
① 親の勤務形態

図表 2-1 は、新入生の父親の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」「自営」「無職」「いない」別に尋ねた結果である。新入生の父親の勤務形態は、86.0%が「フルタイム勤務」であり、平成 26 年度も同様の傾向であった（お茶の水女子大学 2014,p39 参照）。



図表 2-1 父親の勤務形態

同様に、新入生の母親の勤務形態について尋ねた結果が図表 2-2 である。「パートタイム勤務」が全体の 35.7%で最も高く、「無職」30.5%、「フルタイム勤務」27.1%が続いており、平成 26 年度新入生とほぼ同じ傾向である（お茶の水女子大学 2014,p40）。今年度新入生では、「パートタイム勤務」の母親が昨年の 32.6%と比べて 3 ポイント程度少ない。

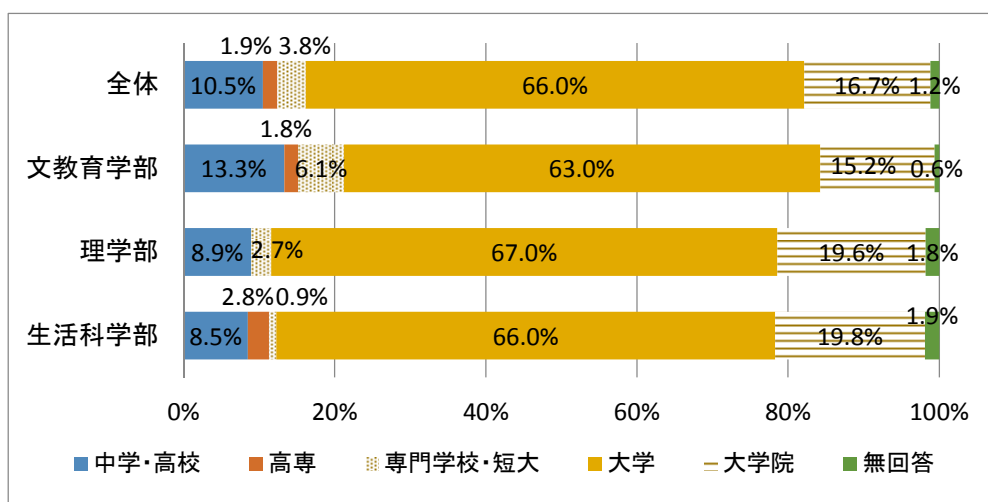


図表 2-2 母親の勤務形態

② 親の学歴

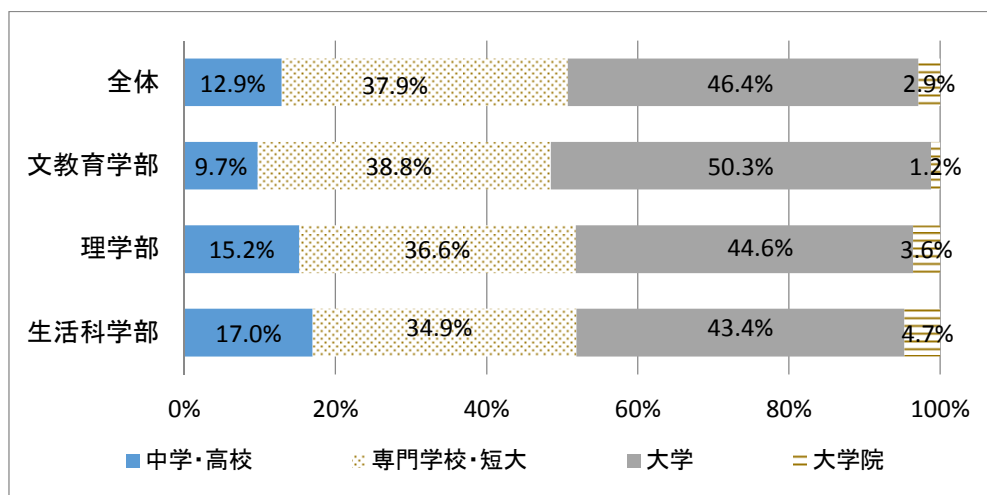
図表 2-3 は、新入生の父親の最終学歴について尋ね、「大学院」「大学」「専門学校・短大」「高等専門学校」「中学・高校」別に示した結果である。新入生の父親の最終学歴は、全体でみると、「大学」が 66.0%と最も高く、それに「大学院」16.7%、「中学・高校」10.5%が続いている。平成 26 年度新入生の父親も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2014,p41）。

学部別では平成 26 年度においては理学部が他の学部にくらべて「中学・高校」「大学院」が高く、「大学」は低いという特徴であった。平成 27 年度では、「大学」「大学院」を合わせた割合が、理学部では 86.6%であり、父親の学歴が高い傾向が見られる。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である男性は 28.7%であり、これと比較すると平成 27 年度新入生の父親の学歴は高いほうに偏っている。



図表 2-3 父親の最終学歴

同様に、新入生の母親の最終学歴について尋ねた結果が図表 2-4 である。平成 26 年度の新入生の母親の最終学歴は、「大学」45.8%、「専門学校・短大」35.0%であった（お茶の水女子大学 2014,p42）。今年度はさらに母親の学歴が高い傾向にあり、「大学」46.4%、「専門学校・短大」37.9%となり、「中学・高校」が 12.9%と割合が低くなっている。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である女性は 20.6%であり、これと比較すると父父親の同様に平成 27 年度新入生の母親の学歴も高いほうに偏っている。



図表 2-4 母親の最終学歴

(3) 大学入学後の経済・生活支援

本節では、新入生の大学入学後の経済・生活支援について、①奨学金・学費免除等の制度の「利用経験の有無」「認知」「利用希望」、②学生寮に関する「認知」「入寮希望」について示す。

① 奨学金・学費免除等の制度の「利用経験の有無」「認知」「利用希望」

図表 3-1 は、本学入学予定のご子女が、これまでに受けたことのある奨学金・学費免除等の制度について、複数回答可として尋ねた結果である。「学生支援機構の奨学金」および「特待生」はそれぞれ全体の 2.1%である。ほかの奨学金についても、いずれも全体の 2%に満たない。

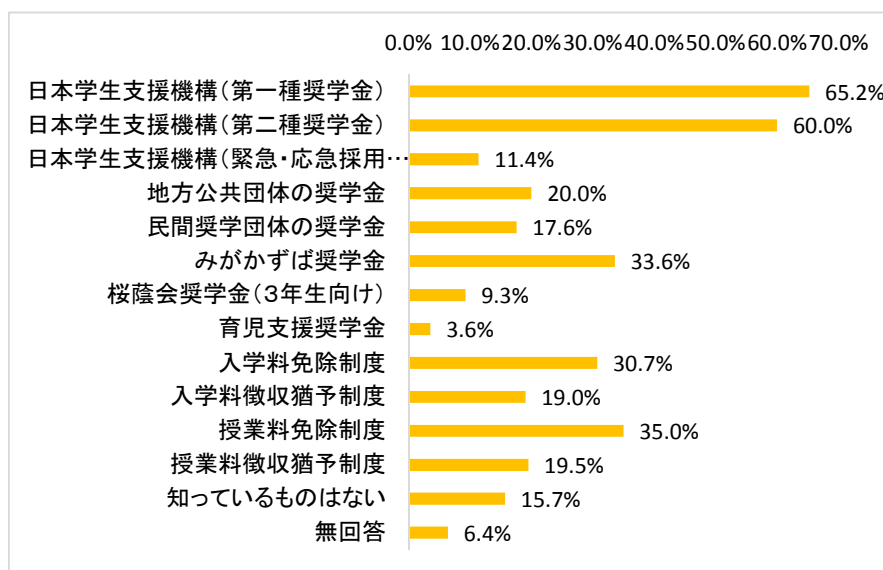
「学費免除」についても、全体の 1.4%にとどまっている。平成 26 年度新入生の保護者でも、ほぼ同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2014,p43）。

図表 3-1 ご子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除等の制度

奨学金 名称	日本学生 支援機構 の奨学金	地方公共 団体の奨 学金	学校独自 の奨学金	民間奨学 団体の奨 学金	その他奨 学金	学費免除	特待生
受けたこと がある	2.1%	1.4%	0.7%	0.2%	0.7%	1.4%	2.1%

図表 3-2 は、奨学金・学費免除等の制度の認知について、複数回答可として尋ねた結果である。

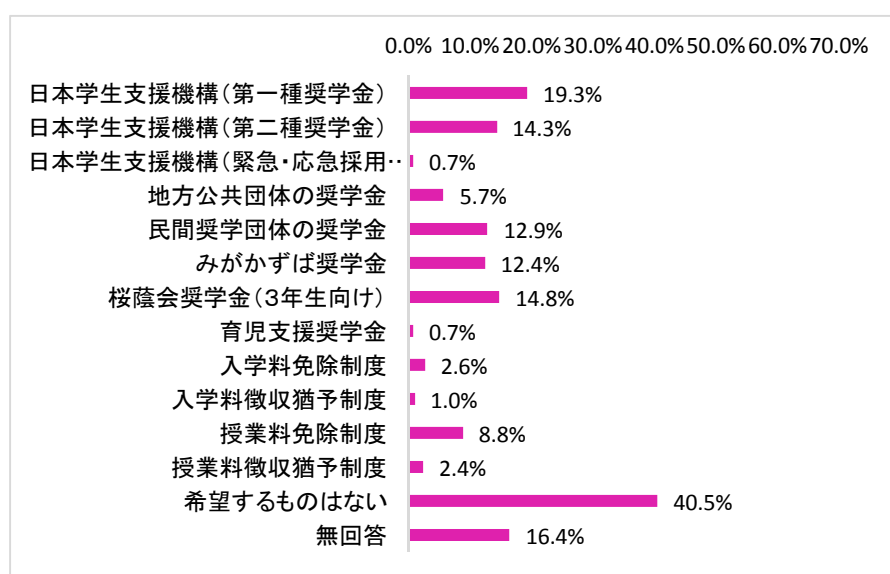
各制度の認知について、奨学金制度に関しては、日本学生支援機構による奨学金の認知率ももっとも高く、第一種は 65.2%、第二種は 60.0%である。本学独自奨学金である「みがかずば奨学金」の認知率は全体の 33.6%であり、平成 26 年度の保護者の認知率 28.6%に比べ、より高い認知率となった。学費免除・猶予等の制度について、免除制度の認知率が全体の 3 割を超えているのに対し、猶予制度の認知率は全体の 2 割弱である。「知っているものはない」は 15.7%である。



図表 3-2 奨学金・学費免除等の制度に対する認知

続いて図表 3-3 は、大学入学後の奨学金・学費免除等の制度の利用希望について、複数回答可として尋ねた結果である。

各制度の希望率について、奨学金制度に関しては、日本学生支援機構による奨学金の希望が、第一種 19.3%、第二種は 14.3%であり、両者に 5 ポイント程度の差が示されている。本学の独自奨学金である「みがかずば奨学金」の希望率は全体の 12.4%であり、日本学生支援機構の第二種奨学金よりやや低い。学費免除等の制度は、平成 27 年度新入生の保護者は 8.8%が希望しており、昨年度の保護者の希望率 10.8%よりも少なく、ここ 3 年間で希望者が初めて 1 割を下回った。（お茶の水女子大学 2014,p45）。「希望するものはない」は 40.5%である。平成 26 年度新入生の保護者では 43.2%が（奨学金などに）「希望するものはない」と回答しており（お茶の水女子大学 2014,p45）、その割合は減少している。

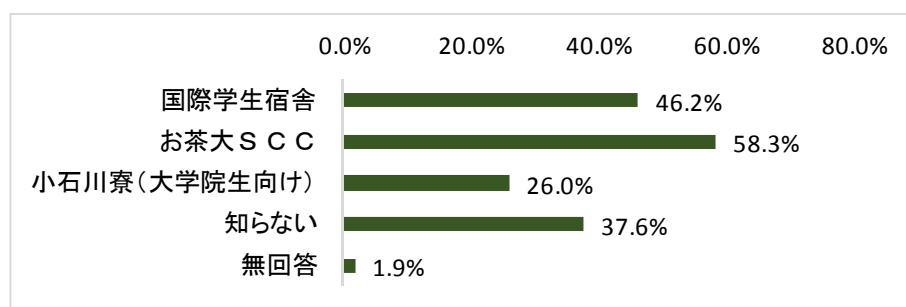


図表 3-3 大学入学後の奨学金・学費免除等の制度の利用希望

② 学生寮に関する「認知」「入寮希望」

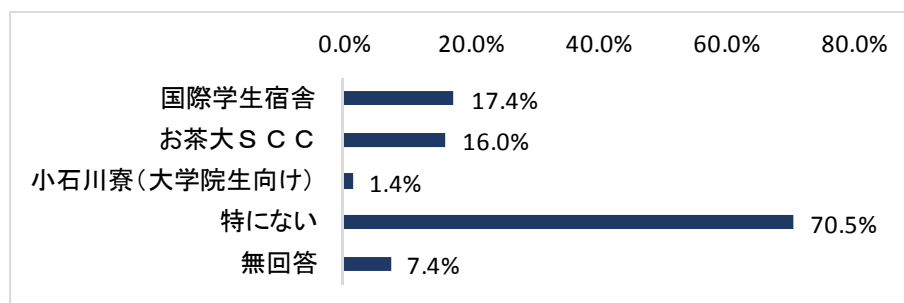
図表 3-4 は、本学の学生寮の認知について、複数回答可として尋ねた結果である。

「お茶大 SCC」が 58.3%と最も高く、「国際学生宿舎」が 46.2%とそれに続いている。「知らない」は全体の 37.6%である。全体として、平成 26 年度新入生の保護者よりも学生寮については低い認知率である（お茶の水女子大学 2014,p46）。



図表 3-4 本学の学生寮に対する認知

図表 3-5 は、本学の学生寮への入寮の希望について、複数回答可として尋ねた結果である。「国際学生宿舎」への入寮を希望する保護者は 17.4%、「お茶大 SCC」を希望する保護者は 16.0%「特にない」が全体の 70.5%であり、平成 26 年度新入生の保護者とほぼ同様の結果である（お茶の水女子大学 2014,p46）。



図表 3-5 本学の学生寮への入寮希望

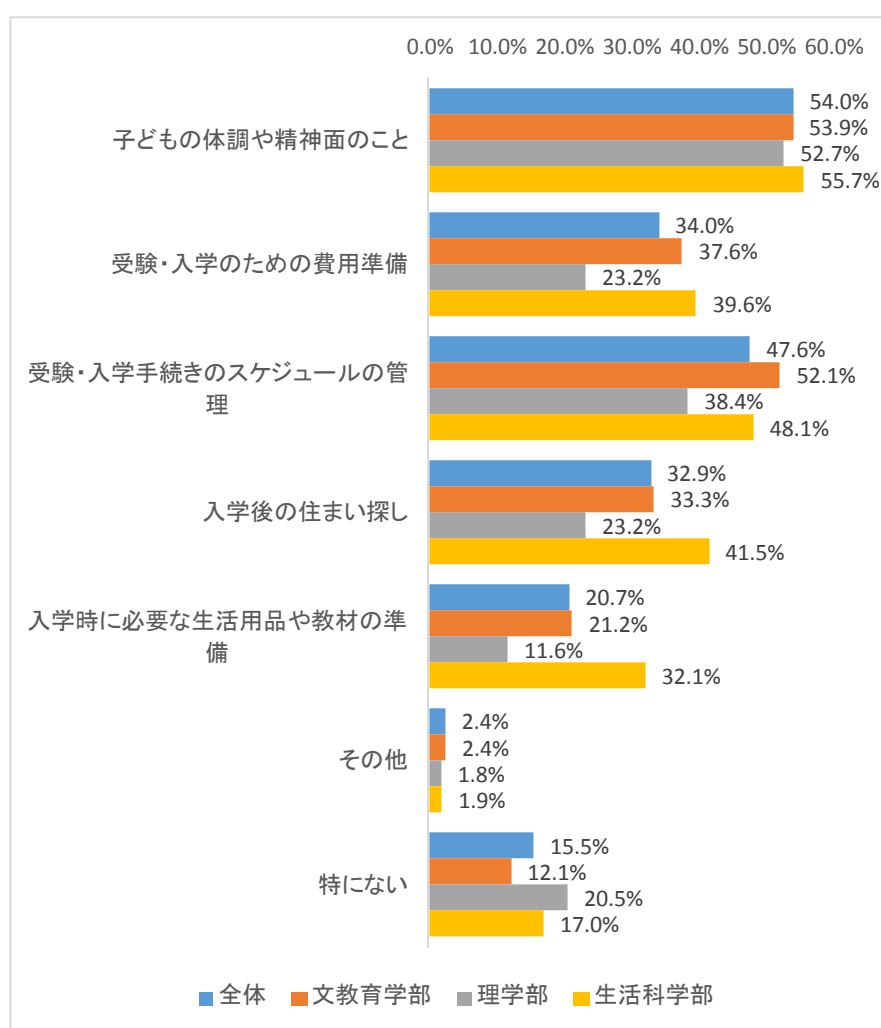
(4) 大学生生活の不安・心配事

本節では保護者から見たご子女の大学生生活の不安・心配事について、①受験から入学までに困ったこと、②大学生活が始まって心配なこと、③本学の学生支援活動で期待するものを示す。

① 受験から入学までに困ったこと

図表 4-1 は、受験から入学までに困ったことについて、複数回答可として尋ねた結果である。

困ったことについては、「子どもの体調や精神面のこと」が全体の 54.0%と最も高く、「受験・入学手続きのスケジュールの管理」が全体の 47.6%でそれに続いている。「特にない」は全体の 15.5%であった。これらの結果は、平成 26 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014 p47）。学部別では、生活科学部は「受験・入学のための費用準備」「入学時に必要な生活用品や教材の準備」について困ったと回答する保護者の割合が他学部比べて高い。

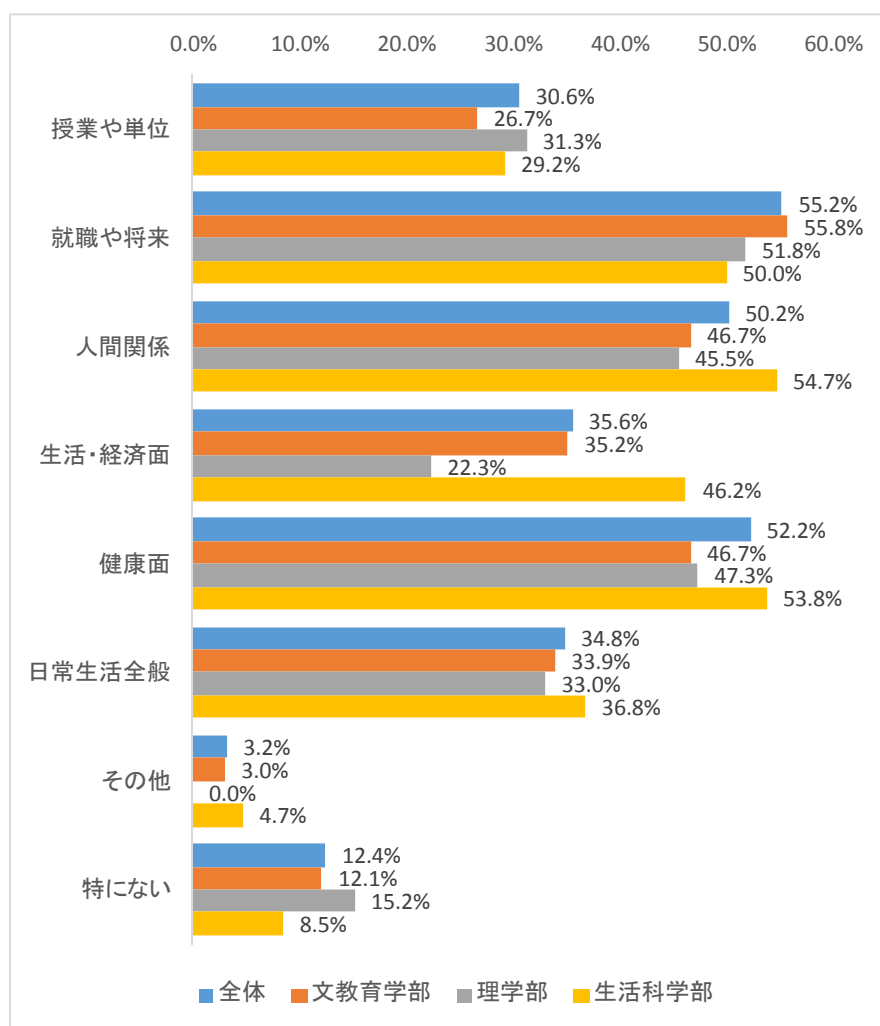


図表 4-1 受験から入学までに困ったこと

② 大学生活が始まって心配なこと

図表 4-2 は、大学生活が始まって心配なことについて、複数回答可として尋ねたものである。心配なことについては、「就職や将来」が全体の 55.2%と最も高く、「健康面」52.2%、「人間関係」50.2%、がそれに続く結果となっている。この結果は、平成 26 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2013,p48）。「特にない」は全体の 12.4%であり、平成 25 年度新入生の保護者と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2013,p37）。

学部別では、理学部において「生活・経済面」「日常生活全般」を心配する保護者の割合が低い。

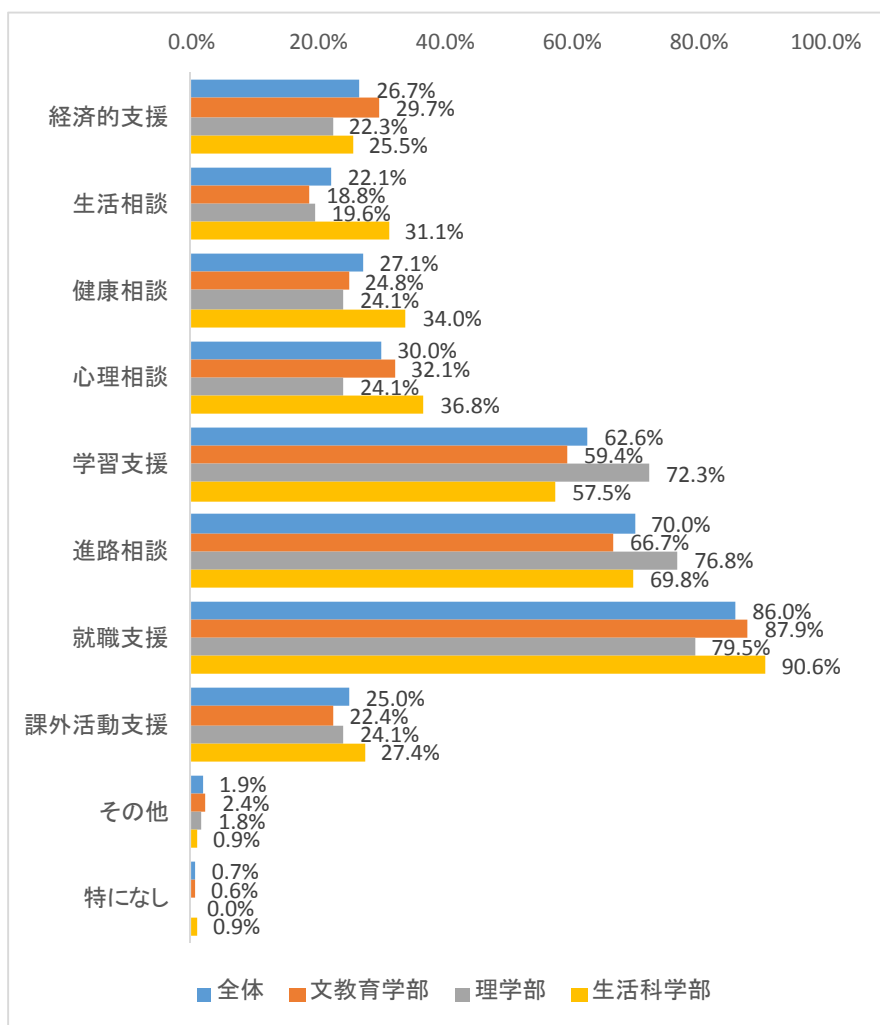


図表 4-2 大学生活が始まって心配なこと

③ 本学の学生支援活動で期待するもの

図表 4-3 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待するものについて、複数回答可として尋ねた結果である。

「就職支援」が全体の 86.0%で最も高く、文教育学部や生活科学部ではおよそ 9 割に達している。「進路相談」70.0%、「学習支援」62.6%がそれに続くが、平成 26 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2014,p49）。理学部では、「進路相談」76.8%と「学習支援」72.3%が他の学部より高い結果となっている。また生活科学部では、「心理相談」36.8%、「健康相談」34.0%が他の学部より高いことが示された。



図表 4-3 本学の学生支援活動で期待するもの

第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告

—奨学金・学生寮に関する集計結果—

(1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 方法

調査対象者、調査時期、質問項目については、調査の概要に記載されているため省略する。

(3) 奨学金に関する結果

① 新入生の結果

どのような学生が、奨学金について認知しているのかを明らかにするため、「奨学金の認知」×「奨学金の受給経験」、「兄弟姉妹の人数」、「学生寮の認知」のクロス表を作成した。「奨学金の認知」、「学生寮の認知」は、それぞれの選択肢の中で、一つでも認知していれば「知っている」とした。結果を表1-1～1-3に示す。

表 1-1 奨学金受給経験 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金受給経験	あり	度数	35	3	38
		総和の%	92.1%	7.9%	100.0%
	なし	度数	240	179	419
		総和の%	57.3%	42.7%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

奨学金受給経験と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-2 兄弟姉妹人数 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	42	18	60
		総和の%	70.0%	30.0%	100.0%
	2人	度数	169	91	260
		総和の%	65.0%	35.0%	100.0%
	3人以上	度数	64	35	99
		総和の%	64.6%	35.4%	100.0%
	不明	度数	0	38	38
		総和の%	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

兄弟姉妹人数と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-3 学生寮認知 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
学生寮認知	知らない	度数	45	107	152
		総和の%	29.6%	70.4%	100.0%
	知っている	度数	230	75	305
		総和の%	75.4%	24.6%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

学生寮について認知している場合には、奨学金についても認知している割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

また、どのような学生が、奨学金の受給経験があるのかを明らかにするため、「奨学金の受給経験」×「兄弟姉妹の人数」、「学生寮に対する認知」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 1-4~1-5 に示す。

表 1-4 兄弟姉妹人数 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			経験あり	経験なし	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	9	51	60
		総和の%	15.0%	85.0%	100.0%
	2人	度数	21	239	260
		総和の%	8.1%	91.9%	100.0%
	3人以上	度数	8	91	99
		総和の%	8.1%	91.9%	100.0%
	不明	度数	0	38	38
		総和の%	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	38	419	457
		総和の%	8.3%	91.7%	100.0%

兄弟姉妹人数と奨学金受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-5 学生寮認知 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			経験あり	経験なし	
学生寮認知	知らない	度数	7	145	152
		総和の%	4.6%	95.4%	100.0%
	知っている	度数	31	274	305
		総和の%	10.2%	89.8%	100.0%
合計		度数	38	419	457
		総和の%	8.3%	91.7%	100.0%

学生寮認知と奨学金受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

② 保護者の結果

どのような保護者が、子どもの奨学金を希望しているか明らかにするため、「奨学金希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 2-1～2-9 に示す。

表 2-1 奨学金受給経験 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	272	151	423
		総和の%	64.3%	35.7%	100.00%
	経験あり	度数	4	30	34
		総和の%	11.8%	88.2%	100.00%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.00%

過去に奨学金の受給経験がある場合、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-2 奨学金認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	124	5	129
		総和の%	96.1%	3.9%	100.0%
	知っている	度数	152	176	328
		総和の%	46.3%	53.7%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

奨学金認知と奨学金希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-3 学生寮認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知らない	度数	150	53	203
		総和の%	73.9%	26.1%	100.0%
	知っている	度数	126	128	254
		総和の%	49.6%	50.4%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

学生寮認知と奨学金希望の間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年と同様の結果であった。

表 2-4「世帯年収」、表 2-5「家計支持者の年収」については、1400 万円以上の選択肢を合算してクロス表を作成した。

表 2-4 世帯年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数	5	26	31
		総和の%	16.1%	83.9%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	7	32	39
		総和の%	17.9%	82.1%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	25	44	69
		総和の%	36.2%	63.8%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	58	34	92
		総和の%	63.0%	37.0%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	63	27	90
		総和の%	70.0%	30.0%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	28	9	37
		総和の%	75.7%	24.3%	100.0%
	1400万円以上	度数	48	8	56
		総和の%	85.7%	14.3%	100.0%
	不明	度数	6	1	7
		総和の%	85.7%	14.3%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、世帯年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-5 家計支持者の年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	9	36	45
		総和の%	20.0%	80.0%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	14	37	51
		総和の%	27.5%	72.5%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	45	49	94
		総和の%	47.9%	52.1%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	64	31	95
		総和の%	67.4%	32.6%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	53	20	73
		総和の%	72.6%	27.4%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	19	4	23
		総和の%	82.6%	17.4%	100.0%
	1400万円以上	度数	31	2	33
		総和の%	93.9%	6.1%	100.0%
	不明	度数	5	2	7
		総和の%	71.4%	28.6%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

家計支持者の世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、世帯年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-6 父親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	223	139	362
		総和の%	61.6%	38.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	2	5	7
		総和の%	28.6%	71.4%	100.0%
	自 営	度数	8	20	28
		総和の%	28.6%	71.4%	100.0%
	無 職	度数	3	3	6
		総和の%	50.0%	50.0%	100.0%
	いない	度数	3	12	15
		総和の%	20.0%	80.0%	100.0%
	不 明	度数	1	2	3
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

父親の就労形態がフルタイム勤務である場合、奨学金の希望は少なく、パートタイム勤務である場合、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-7 母親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	56	58	114
		総和の%	49.1%	50.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	91	60	151
		総和の%	60.3%	39.7%	100.0%
	自 営	度数	6	10	16
		総和の%	37.5%	62.5%	100.0%
	無 職	度数	81	47	128
		総和の%	63.3%	36.7%	100.0%
	いない	度数	4	2	6
		総和の%	66.7%	33.3%	100.0%
	不 明	度数	2	4	6
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

母親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-8 家計支持者 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	226	154	380
		総和の%	59.5%	40.5%	100.0%
	母親	度数	7	24	31
		総和の%	22.6%	77.4%	100.0%
	本人	度数	6	3	9
		総和の%	66.7%	33.3%	100.0%
合計		度数	239	181	420
		総和の%	56.9%	43.1%	100.0%

家計支持者が母親の場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。昨年度は、家計支持者が母親の場合、奨学金の希望で有意な関連は見られなかった。

「入学後の暮らし向き」について、「ゆとりがない」「あまりゆとりがない」の選択肢を「ゆとりがない」にまとめ、「ゆとりがある」「多少ゆとりがある」の選択肢を「ゆとりがある」にまとめて、クロス表を作成した。

表 2-9 入学後の暮らし向き と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	96	161	257
		総和の%	37.4%	62.6%	100.0%
	ゆとりがある	度数	137	20	157
		総和の%	87.3%	12.7%	100.0%
	不明	度数	43	0	43
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

入学後の暮らしにゆとりがないと感じている場合には、奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

(4) 学生寮に関する結果

① 新入生の結果

どのような学生が、学生寮を知っているのかを明らかにするため、「学生寮の認知」×「奨学金の受給経験」、「兄弟の人数」のクロス表を作成した。「学生寮の認知」は、選択肢の中で一つでも認知していれば「知っている」とした。それぞれの結果を表 3-1、3-2 に示す。

表 3-1 奨学金受給経験 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
奨学金受給経験	経験なし	度数	145	274	419
		総和の%	34.6%	65.4%	100.0%
	経験あり	度数	7	31	38
		総和の%	18.4%	81.6%	100.0%
合計		度数	152	305	457
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮の認知について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-2 兄弟姉妹人数 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	14	46	60
		総和の%	23.3%	76.7%	100.0%
	2人	度数	75	185	260
		総和の%	28.8%	71.2%	100.0%
	3人以上	度数	25	74	99
		総和の%	25.3%	74.7%	100.0%
	不明	度数	38	0	38
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	152	305	457
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%

兄弟姉妹の人数と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

②保護者の結果

どのような保護者が、子ども学生寮への入寮を希望しているかを明らかにするため、「学生寮の入寮希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 4-1～4-9 に示す。

表 4-1 奨学金受給経験 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	306	81	387
		総和の%	79.1%	20.9%	100.0%
	経験あり	度数	22	12	34
		総和の%	64.7%	35.3%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-2 奨学金認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	82	11	93
		総和の%	88.2%	11.8%	100.0%
	知っている	度数	246	82	328
		総和の%	75.0%	25.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

奨学金の認知と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-3 学生寮認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知らない	度数	165	2	167
		総和の%	98.8%	1.2%	100.0%
	知っている	度数	163	91	254
		総和の%	64.2%	35.8%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

学生寮の認知と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-4 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数	20	11	31
		総和の%	64.5%	35.5%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	24	15	39
		総和の%	61.5%	38.5%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	45	24	69
		総和の%	65.2%	34.8%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	76	16	92
		総和の%	82.6%	17.4%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	72	18	90
		総和の%	80.0%	20.0%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	32	5	37
		総和の%	86.5%	13.5%	100.0%
	1400万円以上	度数	53	3	56
		総和の%	94.6%	5.4%	100.0%
	不明	度数	6	1	7
		総和の%	85.7%	14.3%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

世帯年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、世帯年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望が少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-5 家計支持者の年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	29	16	45
		総和の%	64.4%	35.6%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	32	19	51
		総和の%	62.7%	37.3%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	67	27	94
		総和の%	71.3%	28.7%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	80	15	95
		総和の%	84.2%	15.8%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	61	12	73
		総和の%	83.6%	16.4%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	22	1	23
		総和の%	95.7%	4.3%	100.0%
	1400万円以上	度数	31	2	33
		総和の%	93.9%	6.1%	100.0%
不明	度数	6	1	7	
	総和の%	85.7%	14.3%	100.0%	
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

家計支持者の年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、家計支持者の年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望が低いことが示された、これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-6 父親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	290	72	362
		総和の%	80.1%	19.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	3	4	7
		総和の%	42.9%	57.1%	100.0%
	自 営	度数	19	9	28
		総和の%	67.9%	32.1%	100.0%
	無 職	度数	2	4	6
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
	いない	度数	11	4	15
		総和の%	73.3%	26.7%	100.0%
	不 明	度数	3	0	3
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

父親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-7 母親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	85	29	114
		総和の%	74.6%	25.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	120	31	151
		総和の%	79.5%	20.5%	100.0%
	自 営	度数	13	3	16
		総和の%	81.3%	18.8%	100.0%
	無 職	度数	100	28	128
		総和の%	78.1%	21.9%	100.0%
	いない	度数	5	1	6
		総和の%	83.3%	16.7%	100.0%
	不 明	度数	5	1	6
		総和の%	83.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

母親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-8 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	302	78	380
		総和の%	79.5%	20.5%	100.0%
	母親	度数	18	13	31
		総和の%	58.1%	41.9%	100.0%
	その他	度数	7	2	9
		総和の%	77.8%	22.2%	100.0%
合計		度数	327	93	420
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

家計支持者と学生寮への入寮希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-9 入学後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	146	11	157
		総和の%	93.0%	7.0%	100.0%
	ゆとりがある	度数	175	82	257
		総和の%	68.1%	31.9%	100.0%
	不明	度数	7	0	7
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

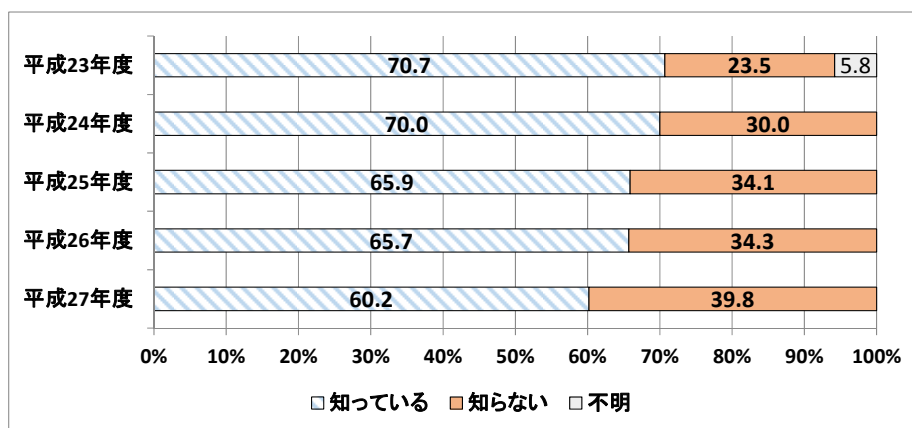
入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合、学生寮の希望が少なく、ゆとりがあると感じている場合、希望が多いことが示された。昨年度はゆとりがないと感じている場合、学生寮を希望する割合は高かったが、今年度は異なる結果が示された。

(5) 奨学金と学生寮について、過年度との比較

新入生の奨学金認知、奨学金受給経験、学生寮認知について、過去4年間の結果と比較をした結果を、図表 5-1～5-3 に示す。また、保護者の奨学金認知、奨学金希望、学生寮認知、学生寮希望についても同様に比較し、図表 5-4～5-7 に示す。

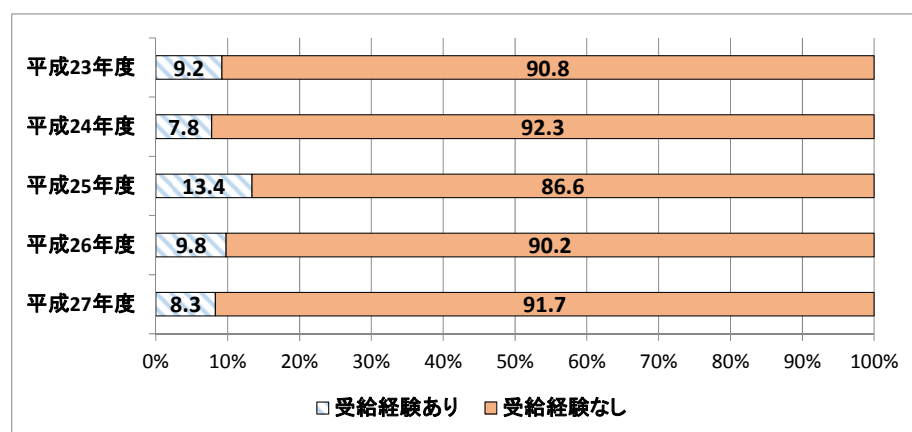
① 新入生の結果

「奨学金認知」の割合は、「知っている」60.2%、「知らない」39.8%となっており、昨年度の「知っている」65.7%、「知らない」34.3%と比べて、認知の割合は5ポイント減少している。平成23年度以降と比べて、徐々に認知の割合が減少していることが示されている。



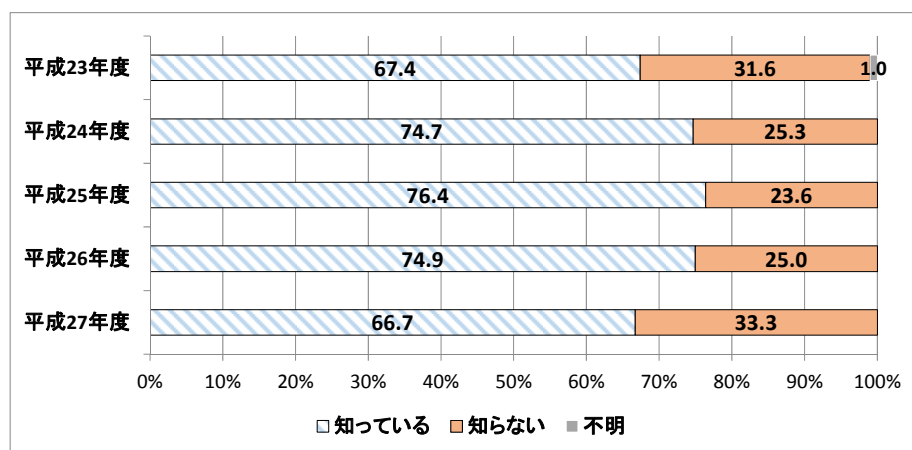
図表 5-1 新入生の奨学金認知の比較

「奨学金受給経験」の割合は、「経験あり」8.3%、「経験なし」91.7%となっており、昨年度の「経験あり」9.8%、「経験なし」90.2%と比べて、大きな変化はなかった。



図表 5-2 新入生の奨学金受給経験の比較

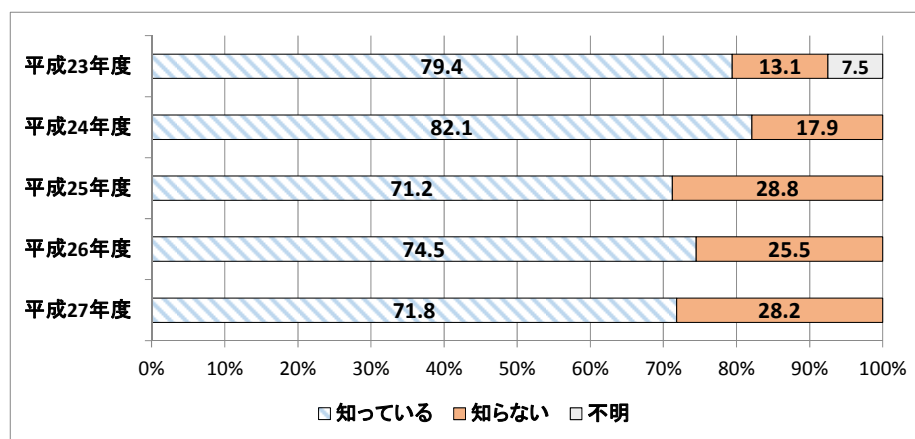
「学生寮認知」の割合は、「知っている」66.7%、「知らない」33.3%となっており、昨年度の「知っている」74.9%、「知らない」25.1%と比べて、認知の割合は8.2ポイント減少している。今年度は平成23年度以来はじめて、学生寮の認知の割合が70%を下回っていることが示された。



図表 5-3 新入生の学生寮認知の比較

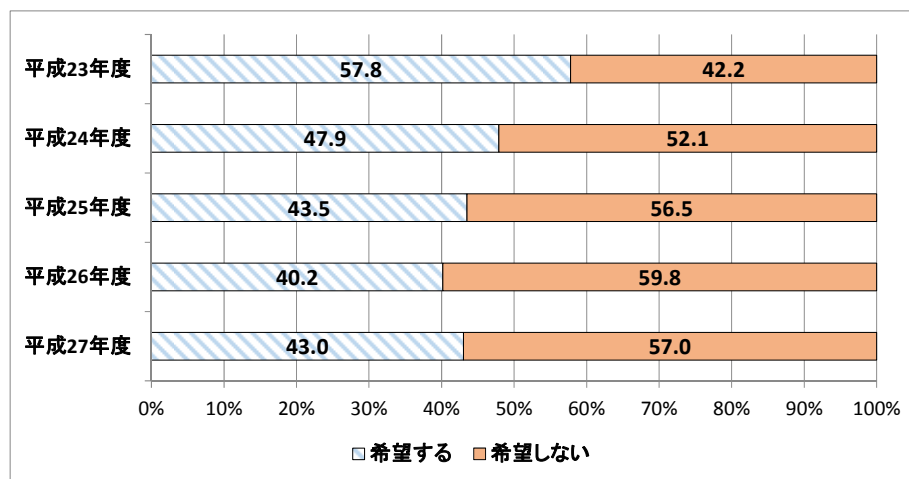
② 保護者の結果

「奨学金認知」の割合は、「知っている」71.8%、「知らない」28.2%となっており、昨年度の「知っている」74.5%、「知らない」25.5%と比べて、認知の割合が2.7%減少していることが示された。昨年度と比べて大きな変化は見られなかった。



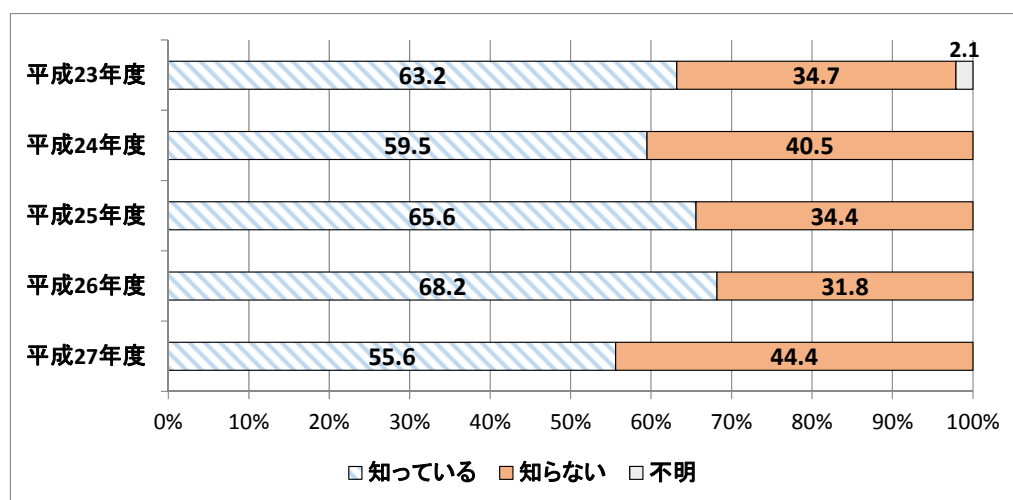
図表 5-4 保護者の奨学金認知の比較

「奨学金希望」の割合は、「希望する」43.0%、「希望しない」57.0%となっており、昨年度の「希望する」40.2%、「希望しない」59.8%と比べて、希望の割合は3ポイント増加していることが示された。



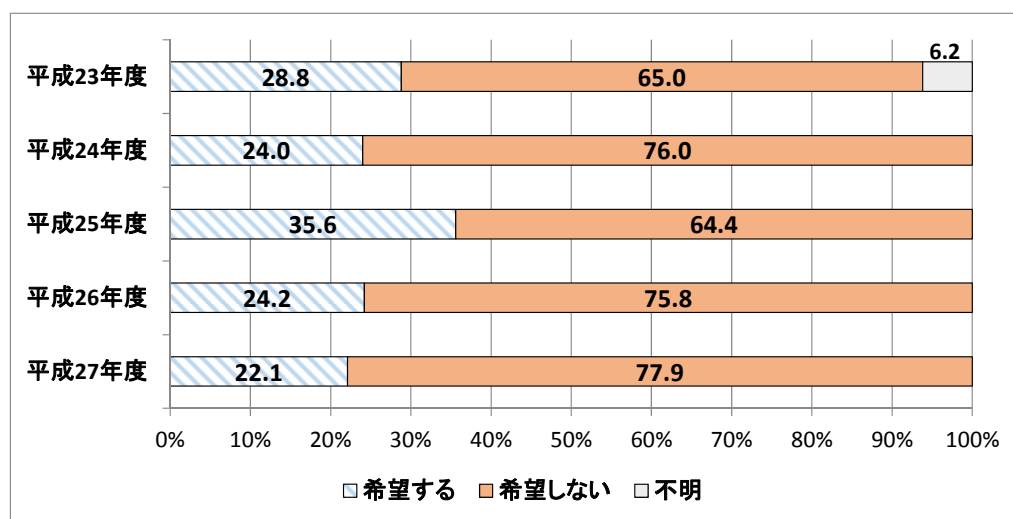
図表 5-5 保護者の奨学金希望の比較

「学生寮認知」の割合は、「知っている」55.6%、「知らない」44.4%となっており、昨年度の「知っている」68.2%、「知らない」31.8%と比べて、認知の割合が 12.6 ポイント減少していることが示された。過去 5 年間の中でも、低い結果となった。



図表 5-6 保護者の学生寮認知の比較

「学生寮希望」の割合は、「希望する」22.1%、「希望しない」77.9%となっており、昨年度の「希望する」24.2%、「希望しない」75.8%と比べて、希望の割合は 2.1 ポイント減少していることが示された。昨年度と比べて大きな変化は見られなかった。



図表 5-7 保護者の学生寮希望の比較

第4章 考察と今後の課題

(1) 平成27年度新入生の特徴と考察

第1章、第2章に示した平成27年度新入生調査より明らかになった特徴をまとめる。

① これまでの進路選択 — 高い中学受験経験率と「お茶大が第一志望」

平成27年度新入生は、例年とほぼ同様の傾向にあるが進路選択に二つの特徴がある。ひとつは、小学校および中学受験を経験した学生が全国平均と比較して多いことである。新入生のうち、小学校受験を経験した人は全体の7.2%、中学校受験を経験した人は43.2%であった。1章で述べたように、「第2回 大学生の学習・生活実態調査」(Benesse 教育研究開発センター 2013)によると大学生の中学受験経験率は27.8%であり、それと比べると本学の新入生の中学受験経験率は高い方に偏っている。

もうひとつの特徴は、本学が第一志望である新入生は87.8%と9割近くに及び、昨年度の86.4%より1.4ポイントの増加をしている。これらの2点の特徴から、約3割の学生は中学受験において受験勉強に勤しみ、中高一貫校で学ぶことを経て本学に第一志望で入学している。他方で、7割弱の学生は高校受験において努力をし、高等学校でも勉学に勤しみ本学に第一志望で入学している。いずれの進路であっても、約9割が第一志望である本学に入学するために、継続的に勉学に努力していたことが推測される。

② 大学生活の予定と経済的側面 — 自宅外通学者は約4割、アルバイト予定者は約6割

新入生調査では、大学生活におけるアルバイトや経済的側面についても回答を得ている。大学入学後に頑張ろうと思う活動については、「大学の授業」99.5%、「友達との交流」78.3%、「クラブ・サークル活動」74.2%と大学を中心にした活動が続く。一方で「アルバイト」に頑張ろうと回答した新入生は64.0%にもなり、学期中にアルバイトを予定している学生は約6割にも及んでいる。

また大学生活において、大学入学後に実家から通学するが新入生は56.7%であり。賃貸アパートやマンションに居住する新入生は30.8%、同様に国際学生宿舎は13.7%、お茶大SCCは10.3%となっている。また実家を離れて居住する学生の仕送り金額について、仕送り予定が10万円未満の学生は50.5%に及んでいる。

授業料負担に関しては、「保護者がほぼ全額を負担」する学生は82.2%に及ぶ。一方で、「一部を本人負担」14.7%と「ほぼ全額を本人負担」2.9%を合わせると約2割の新入生は奨学金やアルバイトで授業料を負担することが示された。

③ 大学生活での不安および期待する学生支援

新入生が大学生活に不安を感じることで最も多いのは「授業や単位」65.5%、次いで「就職や将来」52.1%、「人間関係」51.1%である。そして学生が期待する学生支援では、「就職支援」が77.0%と最も多く、次いで「進路相談」67.2%が続くことが示された。また保護者調査でも、保護者は学生支援として「就職支援」を期待する人が86.0%と最も多く、文教育学部や生活科学部では9割を超える保護者が大学に就職支援を期待している。

④ 卒業後のキャリア

「大学卒業後のキャリアについてどのように考えていますか」という質問に対し、正社員としてキャリアを継続する意識をもつ学生(81.7%)や大学院への進学を考えている学生(64.6%)が

多いことが明らかになった。また結婚・出産を経ても就業継続を希望する割合も 68.9%と約 7 割に及び、新入生の時点からキャリア継続の意思があることが推察される。

(2) 奨学金と学生寮に関する考察

第 3 章で述べた学生支援における奨学金・学生寮のクロス表分析についてまとめる。

① 奨学金

奨学金についての新入生の結果をまとめると、「奨学金の認知」(表 1-1～表 1-5)については、「学生寮について認知している者」は、奨学金の認知が高いことが示された。しかし「奨学金受給経験」「兄弟姉妹人数」については、統計的に有意な関連は見られなかった。これは昨年度の調査でも、同様の結果が示されている。また、「奨学金の受給経験」(表 2-1、表 2-2)については、「兄弟姉妹人数」「学生寮認知」については有意な関連が見られなかった。これは昨年と同様の結果である。

奨学金についての保護者調査から、「奨学金希望」(表 3-1～表 3-9)については、「過去に奨学金の受給経験があるもの」「世帯年収の低い者」「家計支持者の年収が低い者」「父親の就労形態がパートタイムの者」「家計支持者が母親の者」「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」は、奨学金の希望が高いことが示された。昨年度は「学生寮の認知」との関連が見られたが、今年度は有意な関連は見られなかった。

② 学生寮

学生寮について新入生の結果をまとめると、「学生寮の認知」(表 3-1、表 3-2)について、「奨学金受給経験」「兄弟姉妹人数」については、有意な関連は見られなかった。これは昨年度の調査でも同様の結果が示されている。

学生寮について保護者調査の結果からは、「学生寮の希望」(表 4-1～表 4-9)について、「世帯年収の低い者」「家計支持者の年収が低い者」「入学後の暮らし向きにゆとりがあると感じている者」は、学生寮の希望が高いことが示された。昨年度は「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」に学生寮への希望が多いことが示されたが、今年度は異なる結果が示された。

③ 過年度との比較

過年度比較の結果についてまとめると、新入生の「奨学金認知」、「学生寮認知」、保護者の「学生寮認知」についてはいずれも、昨年度よりも認知する割合が減少し、過去 5 年間で比べても低い割合だったことが示された。「奨学金認知」については、保護者調査の結果では減少してはいないため、新入生本人が、奨学金について関心を持っているかどうかによるものと推察される。

学生寮については、すべての学生にニーズがあるわけではないが、「お茶大 SCC」のように自宅から大学までの距離制限を設けていない学生寮もあるため、大学入学と共に親元を離れるということを選択肢として考えることについて、今後どのような変化があるのか見ていきたい。また、学生寮への入寮を必要としている学生に向けての広報を引き続き強化する必要がある。

(3) 学生・キャリア支援における課題

平成 27 年度新入生調査および保護者調査を通じて得られた、本学における学生・キャリア支援の課題は次の 3 点である。

① 経済的支援の充実

第 1 は、すべての学生が学業に専念できるような経済的支援の充実である。自宅外通学者は約 4 割であるとともに仕送りが 10 万円未満の学生は約半数に及ぶ。そして授業料を全額もしくは一部を本人が負担する学生は約 2 割である。これらの現状を十分に認識し、日本学生支援機構の奨学金をはじめとし、本学独自の奨学金や経済的支援を学生および保護者に十分に広報するとともに、教職員を通じた学生からの相談をきめ細かく学生支援部門につないでいくことが学生支援に求められる。

② キャリア支援の活用促進

第 2 は、進路指導やキャリア支援を学生が活用することの促進である。約半数の学生が入学前から「就職や将来」に不安を感じており、約 7 割の学生は、進路相談や就職支援を大学に期待している。こうしたニーズを大学として十分に認識し、進路相談や就職（キャリア）支援の利用促進を行い、学生のニーズに応えるとともに、教職員が就職環境について把握した上で支援を充実させていくことが求められている。本学のキャリア教育・キャリア支援における今後の課題として、低学年からの進路相談やキャリア支援、キャリア教育の浸透を目指し、リーダーシップ教育部門とも連携して進めていく必要がある。

③ 「みがかずば」の理念に沿ったリーダーシップ教育・キャリア教育の提供

第 3 は、新入生のもつキャリア意識を一層高め、学業を通じて培うであろう専門性を社会で十分に発揮できるようなリーダーシップ教育およびキャリア教育、キャリア支援を提供することである。前述の通り、今年度新入生の回答では、正社員としてキャリア継続をする意識をもつ学生、大学院進学を既に考えている学生、結婚・出産を経ても就業継続を希望する学生の割合は多い。将来を見据えた上で、本学を志して入学するという学生の意識の高さをうかがうことができ、入学時からキャリア形成の意思があることが推察される。こうした新入生の高い意識に応えるべく、本学の「みがかずば」の理念に沿った、生涯を通じて役立つキャリア教育・キャリア支援を実践することが今後の課題である。

新入生生活調査

＜入学予定者用＞

(A0 入試合格者・推薦入試合格者・外国学校出身者)

お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、お茶の水女子大学に合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、みなさんのご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報には、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、()内に具体的な内容を記入して下さい。()内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、あなたや保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**指定の期日（別紙参照）までに返送をお願いいたします。**

それでは、よろしくお願いいたします。

Ⅱ. これまでの進路選択や学生生活について、お聞きします。

- (1) 出身小学校・中学の設置者について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。
転校している場合は、小学校6年時、中学3年時の学校について、お答えください。

小学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ⑳

中学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ㉑

- (2) あなたは小学校・中学・高校に入学するために受験をしましたか。
それぞれあてはまるものに○をつけてください。

小学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉒

中学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉓

高 校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉔

- (3) 本学の受験を決めた時期について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、今回の受験前の1年間を高校3年としてお考えください。

1. 高校入学以前 4. 高校3年4～8月 7. 高校3年1・2月 ㉕

2. 高校1年 5. 高校3年9・10月

8. 高校卒業以降

3. 高校2年 6. 高校3年11・12月

- (4) 受験時には、本学を第一志望としていましたか。

1. はい 2. いいえ ㉖

- * (5) 高校卒業から現在までの間に経験したこと**すべて**に○をつけてください。

1. 高卒後、他の高等教育機関（高専、専門学校、短大、他の大学など）に入学した ㉗

2. 高卒後、フルタイムで働いた

3. 高卒後、浪人した

4. 高卒後、海外留学をした

5. この中にはない

- (6) 高校時代に、熱心に取り組んでいた活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

1. 高校の授業 4. 授業以外での勉強 7. ボランティア活動 ㉘

2. 部活動 5. 友達との交流

8. その他（ ）

3. アルバイト活動

6. 趣味

9. 特にない

Ⅲ. 大学入学後の学生生活について、お聞きします。

(1) 大学入学後に居住予定の都道府県**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------------|----|
| 1. 東京都 | 4. 神奈川県 | |
| 2. 埼玉県 | 5. その他の県 () | ③7 |
| 3. 千葉県 | | |

＊ (2) 大学入学後に予定している住居**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|-------------------|----|
| 1. 実家 | 4. 大学の寮 (お茶大 SCC) | |
| 2. 実家以外の賃貸アパートやマンション | 5. 大学以外の寮 | ③8 |
| 3. 大学の寮 (国際学生宿舎) | 6. その他 () | |

(3) 【(2) で「賃貸アパートやマンション」に○をつけた方にお伺いします】

1か月の家賃 (管理費込み) の予算をご記入ください。千円未満は四捨五入してください。

万 千円 ③9～④0

(4) 【(2) で「2～6 (実家以外)」に○をつけた方にお伺いします】

1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはない ④1④2

【全員の方に】

⑩=2

(5) 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-------------|-------------|---|
| 1. 大学の授業 | 4. 授業以外での勉強 | 7. ボランティア活動 | |
| 2. クラブ・サークル活動 | 5. 友達との交流 | 8. その他 () | ⑪ |
| 3. アルバイト活動 | 6. 趣味 | 9. 特にない | |

(6) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

アルバイト活動をどの程度する予定ですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|----------------------|---|
| 1. 長期休暇期間 (夏、冬、春休み) のみ | 5. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも | |
| 2. 学期中、不定期 | 6. その他 () | ⑫ |
| 3. 学期中、定期的に | 7. 未定 | |
| 4. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも | | |

(7) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

どのようなアルバイト活動を希望していますか。希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-----------------|---|
| 1. 家庭教師・塾講師 | 4. 事務 | |
| 2. 商品などの販売 (店員、レジ係など) | 5. 運搬、梱包、清掃等の労働 | ⑬ |
| 3. サービス関係 (接客、調理など) | 6. その他 () | |

【全員の方に】

(8) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定
2. 一部をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む)
3. ほぼ全額をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む)

⑭

＊ (9) これまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	⑮
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑮⑯
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑮⑯
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑳㉑
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉒㉓
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉔㉕
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉖㉗
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㉘㉙
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㉚㉛

(10) 以下の奨学金などの制度について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|----------------|---|
| 1. 日本学生支援機構 (第一種奨学金) | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構 (第二種奨学金) | 9. 入学科免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構 (緊急・応急採用奨学金) | 10. 入学科徴収猶予制度 | ⑳ |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ㉑ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 知っているものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金 (3年生向け) | | |

(11) 本学の学生寮について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|------------------|---------|---|
| 1. 国際学生宿舍 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮 (大学院生向け) | 4. 知らない | ㉒ |
|-----------|------------|------------------|---------|---|

(12) 大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|---|
| 1. 授業や単位 | 5. 健康面 | |
| 2. 就職や将来 | 6. 日常生活全般 | ㉓ |
| 3. 人間関係 | 7. その他 () | |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない | |

(13) 今の気持ち（不安・心配事）について、以下の項目はどの程度あてはまると思いますか。
あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・充実したキャンパスライフを送れるか	1	2	3	4
・友達ができるか	1	2	3	4
・大学になじめるか	1	2	3	4
・金銭面で負担がかからないか	1	2	3	4
・授業についていけるか	1	2	3	4
・進級や卒業ができるか	1	2	3	4
・将来の目標がみつかるか	1	2	3	4
・卒業後ちゃんと就職できるか	1	2	3	4

(14) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

1. 経済的支援 4. 心理相談 7. 就職支援
2. 生活相談 5. 学習支援 8. 課外活動支援
3. 健康相談 6. 進路相談 9. その他（ ）
10. 特になし

IV. 将来の進路について、お聞きします。

* (1) 大学卒業後の進路について、どのような希望をもっていますか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- ④5
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 民間企業に就職する | 5. 大学院などに進学する（海外含む） |
| 2. 公務員になる | 6. その他（ ） |
| 3. 教師などの専門職につく | 7. 決めていない |
| 4. 自営など、1から3以外の形で就職する | |

(2) 大学卒業後のキャリアについて、どのように考えていますか。あてはまる番号にそれぞれ**1つ**○をつけてください。

	そう 思う	ある 程度 思う	そう 思わ ない
・すぐに就職して最初から正社員・正規の職員になる	1	2	3
・すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない	1	2	3
・すぐに大学院などに進学する	1	2	3
・就職してから大学院への進学を考える	1	2	3
・資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない	1	2	3
・卒業後すぐには就職しなくてもよい	1	2	3
・最初の就職先にできるだけ長く勤める	1	2	3
・何年かして転職や独立をする	1	2	3
・結婚・出産したら仕事をやめる	1	2	3

④6

④7

④8

④9

⑤0

⑤1

⑤2

⑤3

⑤4

(3) あなたのご両親は、あなたの就職や将来のことに関して、どれくらい関与しますか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

父親は → 1. まったく関与しない 4. まあまあ関与する

2. あまり関与しない 5. 非常に関与する

3. どちらとも言えない 6. 父親はいない

⑤5

母親は → 1. まったく関与しない 4. まあまあ関与する

2. あまり関与しない 5. 非常に関与する

3. どちらとも言えない 6. 母親はいない

⑤6

・研究調査のために、個人が特定されないデータとして、本調査の回答を用いる許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

⑤7

・皆さん個人に対する適切な学生支援を行うために、*のついた質問に対する回答を個人の情報として登録・管理する許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

⑤8

・お茶の水女子大学に合格した際の受験番号をご記入ください。()

⑤9～⑥5

**ご協力、ありがとうございました。同封の返信用封筒に封入の上、
指定の期日（別紙参照）までに、返送願います。**

新入生生活調査

<入学予定者の保護者用>

(一般入試合格者)

ご子女が、お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、ご子女のお茶の水女子大学合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、ご子女のご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、（ ）内に具体的な内容を記入してください。（ ）内に書ききれない場合は、欄外にご記入ください。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、ご子女や保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**他の入学手続関係書類に同封し、締め切り期日までに返送をお願いいたします。**

それでは、よろしくお願いいたします。

* (1) あなたの世帯で、家計を主に支えている方は入学予定者から見てどなたですか。

⑩=1

1. 父親 2. 母親 3. 入学予定者本人 4. その他 ()

⑪

* (2) 家計を主に支えている方のご職業について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

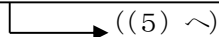
1. 勤労者 3. 法人経営者、自由業者 5. その他 ()
2. 個人営業 4. 農林水産業者 6. 働いていない

⑫

(3) ご子女の父親の方の現在の就労状況について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. フルタイム勤務 2. パートタイム勤務 3. 自営 4. 無職 5. いない

⑬



(4) どのような職種に就いていますか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）
2. 技術職（エンジニア・情報処理技術者など）
3. 管理職（会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など）
4. 事務職（庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など）
5. 営業職（セールスマン・生命保険外交員など）
6. 販売職（デパート・スーパーの店員など）
7. サービス職（美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など）
8. 保安職（警察官・消防士・警備員など）
9. 農林漁業職（農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など）
10. 運輸通信職（鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など）
11. 生産労務職（機械組立修理工・食料品製造工・土木作業者など）
12. その他（

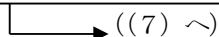
⑭

⑮

(5) ご子女の母親の方の現在の就労状況について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. フルタイム勤務 2. パートタイム勤務 3. 自営 4. 無職 5. いない

①⑥



(6) どのような職種に就いていますか。あてはまるもの **1つ** に○をつけてください。

1. 専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）
2. 技術職（エンジニア・情報処理技術者など）
3. 管理職（会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など）
4. 事務職（庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など）
5. 営業職（セールスマン・生命保険外交員など）
6. 販売職（デパート・スーパーの店員など）
7. サービス職（美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など）
8. 保安職（警察官・消防士・警備員など）
9. 農林漁業職（農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など）
10. 運輸通信職（鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など）
11. 生産労務職（機械組立修理工・食料品製造工・土木作業者など）
12. その他（

⑪

⑮

【全員の方に】

(7) ご子女が大学に入学した後のご家庭の暮らし向きについて、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ゆとりがない 2. あまりゆとりがない 3. 多少ゆとりがある 4. ゆとりがある ⑮

＊ (8) ご家庭の世帯年収（学校に在学する者を除く同一世帯全員の年収。税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400 万円未満 4. 800 万円以上 1000 万円未満 7. 1400 万円以上 1600 万円未満
2. 400 万円以上 600 万円未満 5. 1000 万円以上 1200 万円未満 8. 1600 万円以上 1800 万円未満 ⑳
3. 600 万円以上 800 万円未満 6. 1200 万円以上 1400 万円未満 9. 1800 万円以上

＊ (9) 家計を主に支えている方の年収（税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400 万円未満 4. 800 万円以上 1000 万円未満 7. 1400 万円以上 1600 万円未満
2. 400 万円以上 600 万円未満 5. 1000 万円以上 1200 万円未満 8. 1600 万円以上 1800 万円未満 ㉑
3. 600 万円以上 800 万円未満 6. 1200 万円以上 1400 万円未満 9. 1800 万円以上

(10) 本学に入学予定のご子女への、1 か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。
万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはしない ㉒㉓

(11) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定
2. 一部をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む） ㉔
3. ほぼ全額をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む）

＊ (12) 本学に入学予定のご子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	㉕
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉖㉗
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉘㉙
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉚㉛
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉜㉝
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉞㉟
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㊱㊲
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㊳㊴
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㊵㊶

(13) 以下の奨学金などの制度について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|----------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学料免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度 | ④② |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④③ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 知っているものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(14) 以下の奨学金などの制度について、希望されるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|---------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学料免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度 | ④④ |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④⑤ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 希望するものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(15) 以下の本学の学生寮について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 知らない | ④⑥ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(16) 以下の本学の学生寮について、入寮を希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 特にない | ④⑦ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(17) 受験から入学までに困ったこと・悩んだこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------------------|--|--|---|----|
| 1. 子どもの体調や精神面のこと | | | | |
| 2. 受験・入学のための費用準備 | | | | |
| 3. 受験・入学手続きのスケジュールの管理 | | | | |
| 4. 入学後の住まい探し | | | | ④⑧ |
| 5. 入学時に必要な生活用品や教材の準備 | | | | |
| 6. その他（ | | | ） | |
| 7. 特にない | | | | |

(18) ご子供の大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|----|
| 1. 授業や単位 | 5. 健康面 | |
| 2. 就職や将来 | 6. 日常生活全般 | ④⑨ |
| 3. 人間関係 | 7. その他（ | ） |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない | |

(19) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 経済的支援 | 4. 心理相談 | 7. 就職支援 |
| 2. 生活相談 | 5. 学習支援 | 8. 課外活動支援 |
| 3. 健康相談 | 6. 進路相談 | 9. その他 () |
| | 10. 特になし | |

50

(20) ご両親の最終学歴について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

父親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

51

母親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

52

・研究調査のために、個人が特定されないデータとして、本調査の回答を用いる許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

53

・皆様のご子女に対する適切な学生支援を行うために、*のついた質問に対する回答を個人の情報として登録・管理する許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

54

・ご子女がお茶の水女子大学に合格した際の受験番号をご記入ください。

()

56～62

・ご回答者のご子女との関係について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. その他（続き柄は:)

63

**ご協力、ありがとうございました。同封の返信用封筒に封入の上、
他の入学関係書類に同封して、返送願います。**

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)1/6

		総数	学部			
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)	
I.(1)	学部	409	177	117	115	
			43.3%	28.6%	28.1%	
I.(2)	総数	409	177	117	115	
出身高校・設置者	公立	61.6%	67.2%	53.0%	61.7%	
	私立	33.5%	28.8%	40.2%	33.9%	
	国立	4.4%	2.8%	6.8%	4.3%	
	海外	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	
	高等学校卒業程度認定試験	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
I.(2)	該当者	407	175	117	115	
出身高校・種類	3年制	64.6%	70.3%	57.3%	63.5%	
	中高一貫	34.4%	28.0%	42.7%	35.7%	
	無回答	1.0%	1.7%	0.0%	0.9%	
	I.(2)	該当者	407	175	117	115
出身高校・学科	普通科(理数科も含む)	97.1%	95.4%	100.0%	96.5%	
	総合学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	専門学科(商業・工業、家庭、農業科など)	0.7%	1.7%	0.0%	0.0%	
	その他	1.2%	1.1%	0.0%	2.6%	
	無回答	1.0%	1.7%	0.0%	0.9%	
I.(3)	総数	409	177	117	115	
出身都道府県	国内	99.0%	99.4%	100.0%	97.4%	
	海外	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.7%	0.0%	0.0%	2.6%	
I.(4)	総数	409	177	117	115	
高校3年時の住居	実家	98.5%	98.9%	99.1%	97.4%	
	実家以外の賃貸アパートやマンション	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	
	高校の寮	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	高校以外の寮	0.5%	0.0%	0.9%	0.9%	
	その他	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	
	無回答	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	
I.(5)	総数	409	177	117	115	
家族構成	父親	96.1%	95.5%	96.6%	96.5%	
	母親	99.3%	99.4%	99.1%	99.1%	
	兄	22.2%	20.9%	28.2%	18.3%	
	姉	22.2%	20.3%	16.2%	31.3%	
	弟	25.2%	24.3%	25.6%	26.1%	
	妹	33.3%	40.1%	29.9%	26.1%	
	祖父	33.7%	36.2%	30.8%	33.0%	
	祖母	45.7%	50.3%	35.9%	48.7%	
	夫	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	息子	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	娘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	1.2%	1.7%	0.9%	0.9%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	I.(6)-a	該当者	350	152	103	95
	兄弟姉妹人数	2人	72.6%	69.1%	80.6%	69.5%
3人		23.7%	28.3%	13.6%	27.4%	
4人以上		3.7%	2.6%	5.8%	3.2%	
無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
I.(6)-b	第一子	350	152	103	95	
第何子	第二子	52.9%	57.2%	51.5%	47.4%	
	第三子	38.9%	34.9%	40.8%	43.2%	
	第三子	7.7%	7.9%	5.8%	9.5%	
	第四子以降	0.6%	0.0%	1.9%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
I.(7)	該当者	350	43	152	103	
高等教育機関に進学している兄弟	いない	62.0%	67.4%	65.1%	60.2	
	1人	32.9%	30.2%	28.9%	35	
	2人	3.4%	2.3%	3.9%	3.9	
	3人	0.3%	0.0%	0.0%	1	
	4人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0	
	無回答	1.4%	0.0%	2.0%	0	
I.(8)	該当者	350	152	103	95	
私立の学校に進学している兄弟	いない	43.7%	42.1%	46.6%	43.2%	
	1人	48.3%	50.7%	47.6%	45.3%	
	2人	5.7%	5.3%	2.9%	9.5%	
	3人	1.1%	0.7%	2.9%	0.0%	
	4人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	1.1%	1.3%	0.0%	2.1%	
II.(1)-a	総数	409	177	117	115	
小学校の設置者	国立	4.4%	2.8%	7.7%	3.5%	
	公立	90.7%	92.7%	86.3%	92.2%	
	私立	2.2%	2.3%	1.7%	2.6%	
	海外	2.0%	2.3%	2.6%	0.9%	
	無回答	0.7%	0.0%	1.7%	0.9%	

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)2/6

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
Ⅱ.(1)-b 中学校の設置者	総数	409	177	117	115
	国立	9.0%	6.8%	12.8%	8.7%
	公立	61.9%	68.9%	51.3%	61.7%
	私立	28.1%	23.2%	34.2%	29.6%
	海外	0.7%	1.1%	0.9%	0.0%
	無回答	0.2%	0.0%	0.9%	0.0%
Ⅱ.(2)-a 小学校受験の有無	総数	409	177	117	115
	受験をした	7.3%	5.1%	11.1%	7.0%
	受験をしていない	91.9%	94.4%	87.2%	93.0%
	覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.7%	0.6%	1.7%	0.0%
Ⅱ.(2)-b 中学校受験の有無	総数	409	177	117	115
	受験をした	44.3%	41.8%	47.9%	44.3%
	受験をしていない	55.5%	58.2%	51.3%	55.7%
	覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.2%	0.0%	0.9%	0.0%
Ⅱ.(2)-c 高校受験の有無	総数	409	177	117	115
	受験をした	68.5%	72.3%	63.2%	67.8%
	受験をしていない	31.5%	27.7%	36.8%	32.2%
	覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(3) 受験決定時期	総数	409	177	117	115
	高校入学以前	3.9%	6.8%	0.9%	2.6%
	高校1年	12.2%	9.6%	9.4%	19.1%
	高校2年	26.4%	28.2%	17.1%	33.0%
	高校3年4～8月	23.7%	26.6%	20.5%	22.6%
	高校3年9・10月	10.8%	8.5%	14.5%	10.4%
	高校3年11・12月	5.9%	5.1%	8.5%	4.3%
	高校3年1・2月	10.3%	11.3%	15.4%	3.5%
	高校卒業以降	6.8%	4.0%	13.7%	4.3%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(4) 第一志望	総数	409	177	117	115
	はい	87.8%	93.8%	76.9%	89.6%
	いいえ	12.2%	6.2%	23.1%	10.4%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(5) 高校卒業から大学入学までの間に 経験したこと	総数	409	177	117	115
	高卒後、他の高等教育機関に入学した	0.7%	0.6%	0.9%	0.9%
	高卒後、フルタイムで働いた	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
	高卒後、浪人した	14.4%	9.6%	23.9%	12.2%
	高卒後、海外留学をした	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	この中にはない	76.0%	79.1%	65.0%	82.6%
	無回答	9.5%	11.3%	11.1%	5.2%
Ⅱ.(6) 高校時代取り組んでいた活動	総数	409	177	117	115
	高校の授業	80.4%	81.9%	80.3%	78.3%
	部活動	72.9%	71.8%	69.2%	78.3%
	アルバイト活動	0.7%	1.7%	0.0%	0.0%
	授業以外での勉強	43.5%	49.2%	34.2%	44.3%
	友達との交流	66.7%	66.1%	65.0%	69.6%
	趣味	43.5%	45.8%	46.2%	37.4%
	ボランティア活動	6.8%	7.3%	5.1%	7.8%
	その他	11.0%	14.1%	8.5%	8.7%
	特にない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(1) 居住予定の都道府県	総数	409	177	117	115
	東京都	64.1%	66.7%	54.7%	69.6%
	埼玉県	12.5%	13.0%	13.7%	10.4%
	千葉県	7.8%	4.5%	12.0%	8.7%
	神奈川県	11.7%	11.9%	14.5%	8.7%
	その他の県	3.7%	4.0%	5.1%	1.7%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
Ⅲ.(2) 居住予定の住居	総数	409	177	117	115
	実家	56.7%	56.5%	69.2%	44.3%
	実家以外の賃貸アパートやマンション	30.8%	28.8%	24.8%	40.0%
	大学の寮(国際学生宿舎)	13.7%	16.9%	7.7%	14.8%
	大学の寮(お茶大SCC)	10.3%	11.9%	5.1%	13.0%
	大学以外の寮	6.4%	4.0%	7.7%	8.7%
	その他	2.9%	5.6%	0.0%	1.7%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
Ⅲ.(3) 家賃(千円)	該当者	126	51	29	46
	5万円未満	3.2%	2.0%	3.4%	4.3%
	5～7万円台	51.6%	54.9%	41.4%	54.3%
	8～9万円台	28.6%	27.5%	20.7%	34.8%
	10～12万円台	5.6%	3.9%	13.8%	2.2%
	13～14万円台	2.4%	3.9%	3.4%	0.0%
	15万円以上	4.0%	2.0%	13.8%	0.0%
	無回答	4.8%	5.9%	3.4%	4.3%

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)3/6

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
Ⅲ. (4)	該当者	186	81	40	65
	仕送りはない	4.8%	2.5%	10.0%	4.6%
	仕送り額(万円)				
	5万円未満	8.6%	7.4%	7.5%	10.8%
	5～7万円台	30.1%	38.3%	20.0%	26.2%
	8～9万円台	7.0%	9.9%	5.0%	4.6%
	10～12万円台	27.4%	17.3%	37.5%	33.8%
	13～14万円台	1.6%	0.0%	0.0%	4.6%
	15万円以上	9.7%	9.9%	15.0%	6.2%
	無回答	10.8%	14.8%	5.0%	9.2%
Ⅲ. (5)	総数	409	177	117	115
	大学の授業	99.5%	100.0%	98.3%	100.0%
	入学後の活動				
	クラブ・サークル活動	76.0%	70.6%	77.8%	82.6%
	アルバイト活動	65.5%	62.1%	65.0%	71.3%
	授業以外での勉強	55.3%	57.6%	48.7%	58.3%
	友達との交流	80.2%	78.0%	76.1%	87.8%
	趣味	45.7%	49.2%	39.3%	47.0%
	ボランティア活動	20.0%	20.9%	15.4%	23.5%
	その他	1.7%	2.3%	0.9%	1.7%
	特になし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (6)	該当者	268	110	76	82
	長期休暇期間(夏、冬、春休み)のみ	7.5%	8.2%	7.9%	6.1%
	アルバイ活動予定				
	学期中、不定期	2.2%	1.8%	1.3%	3.7%
	学期中、定期的に	13.4%	15.5%	15.8%	8.5%
	学期中に定期的に、長期休暇期間にも	45.9%	50.0%	31.6%	53.7%
	学期中に不定期的に、長期休暇期間にも	10.4%	8.2%	13.2%	11.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未定	20.5%	16.4%	30.3%	17.1%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (7)	該当者	268	110	76	82
	希望するアルバイト活動				
	家庭教師・塾講師	69.8%	75.5%	76.3%	56.1%
	商品などの販売(店員、レジ係など)	41.0%	44.5%	30.3%	46.3%
	サービス関係(接客、調理など)	51.1%	49.1%	39.5%	64.6%
	事務	18.3%	23.6%	21.1%	8.5%
	運搬、梱包、清掃等の労働	3.4%	3.6%	5.3%	1.2%
	その他	2.2%	0.0%	3.9%	3.7%
	無回答	1.1%	0.0%	3.9%	0.0%
Ⅲ. (8)	総数	409	177	117	115
	授業料の負担予定				
	ほぼ全額を保護者が負担予定	82.2%	81.9%	82.9%	81.7%
	一部をあなたが負担予定(奨学金、アルバイ)	14.7%	15.3%	15.4%	13.0%
	ほぼ全額をあなたが負担予定(奨学金、アル)	2.9%	2.3%	1.7%	5.2%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)	総数	409	177	117	115
	受けたことのある奨学金				
	日本学生支援機構の奨学金	2.9%	4.5%	0.9%	2.6%
	地方公共団体の奨学金	1.7%	1.7%	2.6%	0.9%
	学校独自の奨学金	0.7%	0.6%	0.0%	1.7%
	民間奨学団体の奨学金	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
	新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の奨学金	0.7%	1.1%	0.0%	0.9%
	学費免除	1.2%	2.3%	0.9%	0.0%
	特待生	2.7%	2.8%	3.4%	1.7%
	無回答	90.7%	88.1%	94.0%	91.3%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-1	該当者	12	8	1	3
	日本学生支援機構の奨学金				
	記入あり	58.3%	50.0%	100.0%	66.7%
	記入なし	41.7%	50.0%	0.0%	33.3%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-2	該当者	7	3	3	1
	地方公共団体の奨学金				
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-3	該当者	3	1	0	2
	学校独自の奨学金				
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-4	該当者	1	0	0	1
	民間奨学団体の奨学金				
	記入あり	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-5	該当者	0	0	0	0
	新聞社の奨学金				
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-6	該当者	3	2	0	1
	その他の奨学金				
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-7	該当者	5	4	1	0
	学費免除				
	記入あり	60.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	記入なし	40.0%	25.0%	100.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-8	該当者	11	5	4	2
	特待生				
	記入あり	72.7%	100.0%	50.0%	50.0%
	記入なし	27.3%	0.0%	50.0%	50.0%

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)4/6

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	12	8	1	3
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸付	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9-)奨学金／給与・貸付-2 地方公共団体の奨学金	該当者	7	3	3	1
	給与	57.1%	66.7%	66.7%	0.0%
	貸付	42.9%	33.3%	33.3%	100.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-3 学校独自の奨学金	該当者	3	1	0	2
	給与	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	1	0	0	1
	給与	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-6 その他の奨学金	該当者	3	2	0	1
	給与	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	貸付	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-7 学費免除	該当者	5	4	1	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金／給与・貸付-8 特待生	該当者	11	5	4	2
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (10) 奨学金の認知	総数	409	177	117	115
	日本学生支援機構(第一種奨学金)	42.3%	41.8%	41.9%	43.5%
	日本学生支援機構(第二種奨学金)	40.3%	39.5%	39.3%	42.6%
	日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	5.9%	5.6%	9.4%	2.6%
	地方公共団体の奨学金	10.5%	9.6%	11.1%	11.3%
	民間奨学団体の奨学金	11.7%	10.2%	12.8%	13.0%
	みがかずば奨学金	44.0%	53.1%	27.4%	47.0%
	桜蔭会奨学金(3年生向け)	7.8%	9.6%	4.3%	8.7%
	育児支援奨学金	1.5%	1.7%	0.9%	1.7%
	入学料免除制度	20.5%	21.5%	17.1%	22.6%
	入学料徴収猶予制度	12.5%	13.0%	10.3%	13.9%
	授業料免除制度	22.2%	24.9%	17.1%	23.5%
	授業料徴収猶予制度	13.2%	13.6%	12.0%	13.9%
	知っているものはない	30.3%	22.0%	43.6%	29.6%
Ⅲ. (11) 知っている学生寮	総数	409	177	117	115
	国際学生宿舍	48.7%	52.0%	36.8%	55.7%
	お茶大SCC	71.9%	72.3%	60.7%	82.6%
	小石川寮(大学院生向け)	33.5%	35.0%	21.4%	43.5%
	知らない	27.1%	26.0%	38.5%	17.4%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (12) 心配なこと	総数	409	177	117	115
	授業や単位	65.5%	66.1%	66.7%	63.5%
	就職や将来	52.1%	57.1%	46.2%	50.4%
	人間関係	51.1%	51.4%	46.2%	55.7%
	生活・経済面	38.9%	36.2%	31.6%	50.4%
	健康面	14.7%	10.2%	14.5%	21.7%
	日常生活全般	27.1%	28.2%	25.6%	27.0%
	その他	0.7%	0.0%	0.0%	2.6%
	特にない	6.6%	6.8%	8.5%	4.3%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (13)不安・心配ごと-1 充実したキャンパスライフを送れるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	29.6%	27.1%	31.6%	31.3%
	ある程度あてはまる	40.8%	44.6%	47.9%	27.8%
	あまりあてはまらない	19.1%	19.2%	9.4%	28.7%
	あてはまらない	10.3%	8.5%	11.1%	12.2%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
	あてはまる(計)	70.4%	71.8%	79.5%	59.1%
Ⅲ. (13)不安・心配ごと-2 友達ができるか	あてはまらない(計)	29.3%	27.7%	20.5%	40.9%
	総数	409	177	117	115
	あてはまる	27.9%	24.3%	29.9%	31.3%
	ある程度あてはまる	36.9%	39.5%	36.8%	33.0%
	あまりあてはまらない	24.2%	23.7%	23.1%	26.1%
	あてはまらない	10.8%	11.9%	10.3%	9.6%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
	あてはまる(計)	64.8%	63.8%	66.7%	64.3%
	あてはまらない(計)	35.0%	35.6%	33.3%	35.7%

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)5/6

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-3 大学になじめるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	24.0%	20.9%	24.8%	27.8%
	ある程度あてはまる	42.5%	44.6%	46.2%	35.7%
	あまりあてはまらない	22.7%	22.0%	18.8%	27.8%
	あてはまらない	10.5%	11.9%	10.3%	8.7%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
	あてはまる(計)	66.5%	65.5%	70.9%	63.5%
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-4 金銭面で負担がかからないか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	25.9%	29.9%	17.9%	27.8%
	ある程度あてはまる	33.0%	34.5%	30.8%	33.0%
	あまりあてはまらない	29.1%	26.6%	35.0%	27.0%
	あてはまらない	11.5%	8.5%	16.2%	11.3%
	無回答	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%
	あてはまる(計)	58.9%	64.4%	48.7%	60.9%
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-5 授業についていけるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	28.1%	27.7%	26.5%	30.4%
	ある程度あてはまる	45.5%	44.1%	48.7%	44.3%
	あまりあてはまらない	21.3%	23.2%	20.5%	19.1%
	あてはまらない	4.6%	4.5%	3.4%	6.1%
	無回答	0.5%	0.6%	0.9%	0.0%
	あてはまる(計)	73.6%	71.8%	75.2%	74.8%
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-6 進級や卒業ができるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	15.4%	14.1%	16.2%	16.5%
	ある程度あてはまる	35.0%	31.1%	43.6%	32.2%
	あまりあてはまらない	37.9%	42.9%	29.9%	38.3%
	あてはまらない	11.2%	11.3%	9.4%	13.0%
	無回答	0.5%	0.6%	0.9%	0.0%
	あてはまる(計)	50.4%	45.2%	59.8%	48.7%
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-7 将来の目標が見つかるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	20.8%	17.5%	21.4%	25.2%
	ある程度あてはまる	36.9%	40.7%	42.7%	25.2%
	あまりあてはまらない	26.7%	27.1%	23.1%	29.6%
	あてはまらない	15.4%	14.1%	12.8%	20.0%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
	あてはまる(計)	57.7%	58.2%	64.1%	50.4%
Ⅲ. (13) 不安・心配ごと-8 卒業後ちゃんと就職できるか	総数	409	177	117	115
	あてはまる	30.6%	31.6%	23.1%	36.5%
	ある程度あてはまる	37.7%	36.7%	46.2%	30.4%
	あまりあてはまらない	23.2%	22.6%	22.2%	25.2%
	あてはまらない	8.1%	8.5%	7.7%	7.8%
	無回答	0.5%	0.6%	0.9%	0.0%
	あてはまる(計)	68.2%	68.4%	69.2%	67.0%
Ⅲ. (14) 期待する学生支援活動	総数	409	177	117	115
	経済的支援	28.1%	28.8%	24.8%	30.4%
	生活相談	18.8%	20.3%	14.5%	20.9%
	健康相談	7.8%	6.8%	6.8%	10.4%
	心理相談	13.0%	13.6%	9.4%	15.7%
	学習支援	61.4%	62.7%	62.4%	58.3%
	進路相談	67.2%	62.7%	75.2%	66.1%
	就職支援	77.0%	77.4%	74.4%	79.1%
	課外活動支援	32.3%	37.3%	24.8%	32.2%
	その他	0.7%	0.6%	0.0%	1.7%
	特になし	1.5%	2.3%	1.7%	0.0%
Ⅳ. (1) 大学卒業後の進路	総数	409	177	117	115
	民間企業に就職する	54.5%	54.8%	46.2%	62.6%
	公務員になる	32.8%	41.2%	19.7%	33.0%
	教師などの専門職につく	24.2%	34.5%	17.9%	14.8%
	自営など、1から3以外の形で就職する	3.2%	3.4%	2.6%	3.5%
	大学院などに進学する(海外含む)	49.9%	34.5%	75.2%	47.8%
	その他	2.0%	3.4%	0.9%	0.9%
Ⅳ. (2) 大学卒業後のキャリア-1 すぐに就職して最初から正社員・ 正規の職員になる	決めていない	13.9%	17.5%	11.1%	11.3%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
	総数	409	177	117	115
	そう思う	45.0%	50.3%	29.9%	52.2%
	ある程度そう思う	36.7%	36.2%	41.0%	33.0%
Ⅳ. (2) 大学卒業後のキャリア-2 すぐに就職するが正社員・正規の 職員にこだわらない	そう思うわない	16.6%	11.9%	26.5%	13.9%
	無回答	1.7%	1.7%	2.6%	0.9%
	総数	409	177	117	115
	そう思う	3.9%	6.8%	1.7%	1.7%
	ある程度そう思う	20.5%	22.6%	16.2%	21.7%
	そう思うわない	73.6%	68.4%	79.5%	75.7%
	無回答	2.0%	2.3%	2.6%	0.9%

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)6/6

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
IV. (2)大学卒業後のキャリア-3	総数	409	177	117	115
すぐに大学院などに進学する	そう思う	23.5%	8.5%	42.7%	27.0%
	ある程度そう思う	41.1%	44.1%	45.3%	32.2%
	そう思うわない	34.2%	45.8%	11.1%	40.0%
	無回答	1.2%	1.7%	0.9%	0.9%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-4	総数	409	177	117	115
就職してから大学院への進学を考える	そう思う	2.9%	2.3%	4.3%	2.6%
	ある程度そう思う	13.4%	13.6%	11.1%	15.7%
	そう思うわない	82.2%	82.5%	82.9%	80.9%
	無回答	1.5%	1.7%	1.7%	0.9%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-5	総数	409	177	117	115
資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない	そう思う	3.4%	3.4%	1.7%	5.2%
	ある程度そう思う	24.4%	26.6%	23.9%	21.7%
	そう思うわない	70.2%	68.4%	71.8%	71.3%
	無回答	2.0%	1.7%	2.6%	1.7%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-6	総数	409	177	117	115
卒業後すぐには就職しなくてもよい	そう思う	3.4%	2.8%	6.0%	1.7%
	ある程度そう思う	24.9%	22.6%	33.3%	20.0%
	そう思うわない	70.2%	72.9%	59.0%	77.4%
	無回答	1.5%	1.7%	1.7%	0.9%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-7	総数	409	177	117	115
最初の就職先にできるだけ長く勤める	そう思う	45.2%	46.3%	41.0%	47.8%
	ある程度そう思う	43.3%	41.2%	47.9%	41.7%
	そう思うわない	10.0%	10.7%	9.4%	9.6%
	無回答	1.5%	1.7%	1.7%	0.9%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-8	総数	409	177	117	115
何年かして転職や独立をする	そう思う	3.9%	4.0%	4.3%	3.5%
	ある程度そう思う	30.3%	29.4%	29.1%	33.0%
	そう思うわない	64.3%	65.0%	65.0%	62.6%
	無回答	1.5%	1.7%	1.7%	0.9%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-9	総数	409	177	117	115
結婚・出産したら仕事をやめる	そう思う	2.7%	1.1%	4.3%	3.5%
	ある程度そう思う	26.9%	26.6%	25.6%	28.7%
	そう思うわない	68.9%	70.6%	68.4%	67.0%
	無回答	1.5%	1.7%	1.7%	0.9%
IV. (3)就職や将来への親の関与-a	総数	409	177	117	115
父親	まったく関与しない	6.1%	7.9%	6.0%	3.5%
	あまり関与しない	28.1%	27.7%	26.5%	30.4%
	どちらとも言えない	13.0%	13.6%	12.8%	12.2%
	まあまあ関与する	40.6%	39.0%	41.0%	42.6%
	非常に関与する	7.6%	5.6%	10.3%	7.8%
	父親はいない	3.7%	4.5%	2.6%	3.5%
	無回答	1.0%	1.7%	0.9%	0.0%
IV. (3)就職や将来への親の関与-b	総数	409	177	117	115
母親	まったく関与しない	3.4%	5.1%	2.6%	1.7%
	あまり関与しない	14.7%	13.6%	18.8%	12.2%
	どちらとも言えない	12.2%	11.9%	12.0%	13.0%
	まあまあ関与する	53.3%	54.2%	49.6%	55.7%
	非常に関与する	14.7%	12.4%	16.2%	16.5%
	母親はいない	1.0%	1.1%	0.9%	0.9%
	無回答	0.7%	1.7%	0.0%	0.0%
[データ活用の許可]	総数	409	177	117	115
	はい	99.8%	99.4%	100.0%	100.0%
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
[個人情報登録の許可]	総数	409	177	117	115
	はい	95.4%	95.5%	95.7%	94.8%
	いいえ	4.4%	4.0%	4.3%	5.2%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%
[受験番号]	総数	409	177	117	115
	記入あり	97.3%	97.2%	98.3%	96.5%
	記入なし	2.7%	2.8%	1.7%	3.5%
[お茶大入試方法]	総数	409	177	117	115
	一般	83.9%	79.7%	87.2%	87.0%
	推薦(帰国含む)・文教育学部	6.6%	15.3%	0.0%	0.0%
	推薦(帰国含む)・理学部	3.4%	0.0%	12.0%	0.0%
	推薦(帰国含む)・生活科学部	2.7%	0.0%	0.0%	9.6%
	AO	2.0%	2.3%	0.9%	2.6%
	高校	1.2%	2.3%	0.0%	0.9%
	不明	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)1/4

		総数	学部			
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)	
(1)	総数	420	165	112	106	
家計を支えている人	父親	92.4%	91.5%	95.5%	91.5%	
	母親	9.5%	10.9%	6.3%	11.3%	
	入学予定者本人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
(2)	総数	420	165	112	106	
家計を支えている人の職業	勤労者	85.7%	87.9%	83.0%	82.1%	
	個人営業	3.1%	2.4%	2.7%	5.7%	
	法人経営者、自由業者	6.9%	4.2%	12.5%	7.5%	
	農林水産業者	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	
	その他	1.9%	1.8%	0.9%	1.9%	
	働いていない	0.7%	1.2%	0.0%	0.9%	
	無回答	1.2%	1.2%	0.9%	1.9%	
(3)	総数	420	165	112	106	
父親の職業	フルタイム勤務	86.0%	83.0%	92.9%	82.1%	
	パートタイム勤務	1.7%	2.4%	0.0%	1.9%	
	自営	6.7%	8.5%	3.6%	9.4%	
	無職	1.4%	1.2%	0.0%	1.9%	
	いない	3.6%	3.6%	3.6%	3.8%	
	無回答	0.7%	1.2%	0.0%	0.9%	
(4)	該当者	361	137	104	87	
父親の職種	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	18.0%	16.8%	21.2%	16.1%	
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	13.0%	9.5%	13.5%	16.1%	
	管理職(会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など)	42.7%	40.1%	47.1%	44.8%	
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	12.2%	13.1%	9.6%	13.8%	
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	7.2%	8.0%	8.7%	4.6%	
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	1.4%	2.9%	0.0%	1.1%	
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	1.1%	2.2%	0.0%	1.1%	
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	1.4%	2.2%	0.0%	1.1%	
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木作業者など)	1.4%	2.2%	0.0%	0.0%	
	その他	0.8%	0.7%	0.0%	1.1%	
	無回答	0.8%	2.2%	0.0%	0.0%	
	(5)	総数	420	165	112	106
	母親の職業	フルタイム勤務	27.1%	24.8%	26.8%	28.3%
パートタイム勤務		35.7%	37.6%	26.8%	39.6%	
自営		3.8%	3.0%	7.1%	2.8%	
無職		30.5%	32.1%	34.8%	27.4%	
いない		1.4%	1.2%	1.8%	0.9%	
無回答		1.4%	1.2%	2.7%	0.9%	
(6)	該当者	114	41	30	30	
母親の職種	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	47.4%	65.9%	40.0%	33.3%	
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	2.6%	2.4%	3.3%	3.3%	
	管理職(会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など)	7.0%	0.0%	13.3%	10.0%	
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	27.2%	17.1%	30.0%	36.7%	
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	7.0%	2.4%	6.7%	10.0%	
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	2.6%	2.4%	6.7%	0.0%	
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	2.6%	4.9%	0.0%	3.3%	
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木作業者など)	2.6%	4.9%	0.0%	0.0%	
	その他	0.9%	0.0%	0.0%	3.3%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	(7)	総数	420	165	112	106
	入学した後の暮らし向き	ゆとりがない	18.6%	23.6%	11.6%	17.0%
あまりゆとりがない		42.6%	45.5%	42.9%	36.8%	
多少ゆとりがある		30.7%	24.2%	36.6%	39.6%	
ゆとりがある		6.4%	6.7%	6.3%	4.7%	
	無回答	1.7%	0.0%	2.7%	1.9%	
(8)	総数	420	165	112	106	
世帯年収	400万円未満	7.4%	10.3%	1.8%	8.5%	
	400万円以上600万円未満	9.3%	9.1%	11.6%	5.7%	
	600万円以上800万円未満	16.4%	18.2%	16.1%	14.2%	
	800万円以上1000万円未満	21.7%	24.8%	18.8%	21.7%	
	1000万円以上1200万円未満	21.4%	20.6%	22.3%	20.8%	
	1200万円以上1400万円未満	8.8%	6.1%	9.8%	14.2%	
	1400万円以上1600万円未満	5.2%	3.6%	5.4%	6.6%	
	1600万円以上1800万円未満	3.1%	1.2%	6.3%	2.8%	
	1800万円以上	5.0%	4.8%	7.1%	3.8%	
	無回答	1.7%	1.2%	0.9%	1.9%	
(9)	総数	420	165	112	106	
家計を支えている人の年収	400万円未満	10.7%	12.7%	6.3%	11.3%	
	400万円以上600万円未満	12.1%	13.9%	11.6%	6.6%	
	600万円以上800万円未満	22.4%	26.7%	20.5%	21.7%	
	800万円以上1000万円未満	22.4%	22.4%	21.4%	24.5%	
	1000万円以上1200万円未満	17.4%	15.2%	19.6%	18.9%	
	1200万円以上1400万円未満	5.5%	1.8%	9.8%	7.5%	
	1400万円以上1600万円未満	2.1%	1.2%	2.7%	1.9%	
	1600万円以上1800万円未満	2.1%	0.6%	3.6%	2.8%	
	1800万円以上	3.6%	4.2%	3.6%	2.8%	
	無回答	1.7%	1.2%	0.9%	1.9%	

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)2/4

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
	総数	420	165	112	106
(10)	仕送りはしない	51.2%	51.5%	59.8%	43.4%
	仕送り額(万円)	5.5%	4.8%	6.3%	6.6%
	5～7万円台	13.1%	17.0%	8.0%	15.1%
	8～9万円台	3.6%	4.2%	1.8%	1.9%
	10～12万円台	13.6%	11.5%	12.5%	19.8%
	13～14万円台	1.7%	0.6%	0.0%	4.7%
	15万円台以上	5.5%	4.8%	6.3%	4.7%
	無回答	6.0%	5.5%	5.4%	3.8%
(11)	総数	420	165	112	106
	ほぼ全額を保護者が負担予定	81.2%	80.0%	83.9%	84.9%
	一部をご子女本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	15.0%	17.0%	11.6%	12.3%
	ほぼ全額をご子女本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	2.9%	2.4%	3.6%	1.9%
	無回答	1.0%	0.6%	0.9%	0.9%
(12)	総数	420	165	112	106
	日本学生支援機構の奨学金	2.1%	3.0%	0.0%	2.8%
	地方公共団体の奨学金	1.4%	1.8%	2.7%	0.0%
	学校独自の奨学金	0.7%	0.6%	0.0%	1.9%
	民間奨学団体の奨学金	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
	新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の奨学金	0.7%	1.2%	0.0%	0.9%
	学費免除	1.4%	3.0%	0.9%	0.0%
	特待生	2.1%	1.8%	2.7%	0.9%
	無回答	91.9%	89.7%	94.6%	92.5%
(12)奨学金の具体的名称-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	9	5	0	3
	記入あり	88.9%	80.0%	0.0%	100.0%
(12)奨学金の具体的名称-2 地方公共団体の奨学金	記入なし	11.1%	20.0%	0.0%	0.0%
	該当者	6	3	3	0
(12)奨学金の具体的名称-3 学校独自の奨学金	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的名称-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	3	1	0	2
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
(12)奨学金の具体的名称-5 新聞社の奨学金	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	1	0	0	1
(12)奨学金の具体的名称-6 その他の奨学金	記入あり	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的名称-7 学費免除	該当者	3	2	0	1
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
(12)奨学金の具体的名称-8 特待生	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	6	5	1	0
(12)奨学金／給与・貸付-1 日本学生支援機構の奨学金	記入あり	83.3%	100.0%	0.0%	0.0%
	記入なし	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-2 地方公共団体の奨学金	該当者	9	3	3	1
	記入あり	88.9%	100.0%	66.7%	100.0%
	記入なし	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-3 学校独自の奨学金	該当者	9	5	0	3
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸付	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
(12)奨学金／給与・貸付-4 民間奨学団体の奨学金	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	6	3	3	0
	給与	50.0%	33.3%	66.7%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-5 新聞社の奨学金	貸付	50.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	3	1	0	2
(12)奨学金／給与・貸付-6 その他の奨学金	給与	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-7 学費免除	該当者	1	0	0	1
	給与	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-8 特待生	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金／給与・貸付-9	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当者	9	3	3	1
(12)奨学金／給与・貸付-10	給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)3/4

		総数	学部			
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)	
(13)	奨学金の認知	総数	420	165	112	106
		日本学生支援機構(第一種奨学金)	65.2%	63.0%	70.5%	59.4%
		日本学生支援機構(第二種奨学金)	60.0%	57.0%	65.2%	55.7%
		日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	11.4%	9.7%	13.4%	10.4%
		地方公共団体の奨学金	20.0%	21.2%	21.4%	19.8%
		民間奨学団体の奨学金	17.6%	16.4%	21.4%	17.0%
		みがかずば奨学金	33.6%	39.4%	23.2%	35.8%
		桜蔭会奨学金(3年生向け)	9.3%	11.5%	6.3%	10.4%
		育児支援奨学金	3.6%	3.6%	3.6%	1.9%
		入学料免除制度	30.7%	29.7%	29.5%	34.0%
		入学料徴収猶予制度	19.0%	18.8%	20.5%	17.9%
		授業料免除制度	35.0%	33.3%	33.9%	40.6%
		授業料徴収猶予制度	19.5%	18.2%	22.3%	20.8%
	知っているものはない	15.7%	17.0%	15.2%	17.0%	
	無回答	6.4%	6.7%	4.5%	7.5%	
(14)	奨学金の希望	総数	420	165	112	106
		日本学生支援機構(第一種奨学金)	19.3%	21.2%	16.1%	21.7%
		日本学生支援機構(第二種奨学金)	14.3%	17.0%	15.2%	8.5%
		日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	0.7%	1.2%	0.9%	0.0%
		地方公共団体の奨学金	5.7%	5.5%	5.4%	6.6%
		民間奨学団体の奨学金	12.9%	13.3%	14.3%	11.3%
		みがかずば奨学金	12.4%	14.5%	9.8%	10.4%
		桜蔭会奨学金(3年生向け)	14.8%	17.6%	15.2%	11.3%
		育児支援奨学金	0.7%	0.6%	0.9%	0.9%
		入学料免除制度	2.6%	2.4%	1.8%	4.7%
		入学料徴収猶予制度	1.0%	0.6%	0.9%	1.9%
		授業料免除制度	8.8%	7.9%	8.9%	10.4%
		授業料徴収猶予制度	2.4%	2.4%	2.7%	2.8%
	希望するものはない	40.5%	35.8%	48.2%	42.5%	
	無回答	16.4%	18.2%	12.5%	17.9%	
(15)	知っている学生寮	総数	420	165	112	106
		国際学生宿舎	46.2%	47.3%	36.6%	50.9%
		お茶大SCC	58.3%	58.8%	44.6%	67.0%
		小石川寮(大学院生向け)	26.0%	26.7%	17.9%	30.2%
		知らない	37.6%	37.6%	49.1%	29.2%
	無回答	1.9%	1.2%	3.6%	1.9%	
(16)	入寮を希望する学生寮	総数	420	165	112	106
		国際学生宿舎	17.4%	19.4%	11.6%	19.8%
		お茶大SCC	16.0%	17.6%	9.8%	18.9%
		小石川寮(大学院生向け)	1.4%	1.2%	2.7%	0.0%
		特にない	70.5%	70.3%	78.6%	64.2%
	無回答	7.4%	6.1%	6.3%	9.4%	
(17)	受験から入学までに困ったこと	総数	420	165	112	106
		子どもの体調や精神面のこと	54.0%	53.9%	52.7%	55.7%
		受験・入学のための費用準備	34.0%	37.6%	23.2%	39.6%
		受験・入学手続きのスケジュールの管理	47.6%	52.1%	38.4%	48.1%
		入学後の住まい探し	32.9%	33.3%	23.2%	41.5%
		入学時に必要な生活用品や教材の準備	20.7%	21.2%	11.6%	32.1%
		その他	2.4%	2.4%	1.8%	1.9%
	特にない	15.5%	12.1%	20.5%	17.0%	
	無回答	1.2%	1.2%	1.8%	0.9%	
(18)	心配なこと	総数	420	165	112	106
		授業や単位	29.3%	26.7%	31.3%	29.2%
		就職や将来	52.9%	55.8%	51.8%	50.0%
		人間関係	48.1%	46.7%	45.5%	54.7%
		生活・経済面	34.0%	35.2%	22.3%	46.2%
		健康面	50.0%	46.7%	47.3%	53.8%
		日常生活全般	33.3%	33.9%	33.0%	36.8%
		その他	3.1%	3.0%	0.0%	4.7%
		特にない	11.9%	12.1%	15.2%	8.5%
	無回答	0.7%	0.0%	0.9%	1.9%	
(19)	期待する学生支援活動	総数	420	165	112	106
		経済的支援	26.7%	29.7%	22.3%	25.5%
		生活相談	22.1%	18.8%	19.6%	31.1%
		健康相談	27.1%	24.8%	24.1%	34.0%
		心理相談	30.0%	32.1%	24.1%	36.8%
		学習支援	62.6%	59.4%	72.3%	57.5%
		進路相談	70.0%	66.7%	76.8%	69.8%
		就職支援	86.0%	87.9%	79.5%	90.6%
		課外活動支援	25.0%	22.4%	24.1%	27.4%
		その他	1.9%	2.4%	1.8%	0.9%
	特になし	0.7%	0.6%	0.0%	0.9%	
	無回答	0.2%	0.0%	0.9%	0.0%	
(20)	両親の最終学歴・父親	総数	420	165	112	106
		中学・高校	10.5%	13.3%	8.9%	8.5%
		高専	1.9%	1.8%	0.0%	2.8%
		専門学校・短大	3.8%	6.1%	2.7%	0.9%
		大学	66.0%	63.0%	67.0%	66.0%
		大学院	16.7%	15.2%	19.6%	19.8%
	無回答	1.2%	0.6%	1.8%	1.9%	
(20)	両親の最終学歴・母親	総数	420	165	112	106
		中学・高校	12.9%	9.7%	15.2%	17.0%
		高専	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		専門学校・短大	37.9%	38.8%	36.6%	34.9%
		大学	46.4%	50.3%	44.6%	43.4%
		大学院	2.9%	1.2%	3.6%	4.7%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)4/4

		総数	学部		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)
[データ活用の許可]	総数	420	165	112	106
	はい	99.3%	99.4%	99.1%	99.1%
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.7%	0.6%	0.9%	0.9%
[個人情報登録の許可]	総数	420	165	112	106
	はい	91.7%	89.7%	90.2%	95.3%
	いいえ	7.4%	9.7%	8.9%	3.8%
	無回答	1.0%	0.6%	0.9%	0.9%
[受験番号]	総数	420	165	112	106
	記入あり	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	記入なし	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
[お茶大入試方法]	総数	420	165	112	106
	一般	80.2%	80.0%	86.6%	85.8%
	推薦(帰国含む)・文教育学部	9.8%	15.8%	0.0%	0.0%
	推薦(帰国含む)・理学部	4.3%	0.0%	12.5%	0.0%
	推薦(帰国含む)・生活科学部	2.9%	0.0%	0.0%	10.4%
	AO	1.9%	2.4%	0.9%	2.8%
	高校	1.0%	1.8%	0.0%	0.9%
[回答者の続柄]	不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	総数	420	165	112	106
	父親	23.8%	20.0%	27.7%	23.6%
	母親	76.2%	80.0%	72.3%	76.4%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成27年度 新入生の生活に関する調査報告書

発行日：平成28年 1 月

発 行：国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター
東京都文京区大塚2-1-1
TEL 03-5978-2646
FAX 03-5978-5894
E-mail gakusei@cc.ocha.ac.jp
